



神戸市外国語大学学術情報センター
活動報告

2013 年度



神戸市外国語大学学術情報センター

統計表中の一般的な記号用法は次のとおり

「--」 …………… 該当数字なし

「0」 …………… 該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「…」 …………… 不明、不詳、不定及び算出不能の数

活動状況

図書館部門

1. 2013 年度主な出来事.....	2
2. 蔵書数・受入数	3
1) 図書.....	3
2) 雑誌・新聞.....	4
3) 視聴覚資料.....	4
3. 図書館サービス	5
1) 開館状況.....	5
2) 入館者数統計	6
3) 貸出統計.....	7
4) レファレンス	8
5) 相互協力.....	8
6) OPAC(蔵書検索)利用統計	8
7) データベース利用統計	9
8) 視聴覚ブース利用状況	10
4. 図書館活動.....	11
1) ゼミ対象図書館ガイダンスの実施	11
2) 選書ツアー・ミニビブリオバトル	11
3) 初年次教育の実施.....	12
4) R e ュースの実施.....	12
5) 館報・Newsletter の発行.....	13
6) 展示および新設コーナー	14
7) 図書データ遡及の実施	15
5. 機関リポジトリについて	16
1) コンテンツ種別内訳.....	16
2) アクセス統計	16
6. 地域貢献	17
1) 市民利用制度実施状況	17
2) トライやる・ウィークの受入れ.....	18
7. 学術情報部会	19

1) 2013 年度委員	19
2) 開催記録	19
8. 図書館関連経費	21
1) 予算の推移	21
2) 2013 年度決算	22
9. その他.....	23
1) 研修等参加記録	23
2) 講師派遣等	24
3) 学外会議等参加記録	24

情報メディア部門

1. 2013 年度の主な出来事.....	26
2. キャンパスネットワークシステム.....	27
1) ネットワークサービス利用者数	27
2) ネットワークサービス登録状況	27
3) コンピュータ管理	28
3. 情報メディア教育施設.....	29
1) 情報メディア教室	29
2) 利用者支援サービス	30
3) 学生利用 PC 台数の推移.....	31
4) 自習 PC 利用統計	32
5) 情報メディア教育環境の整備状況.....	33
6) PC セットアップ等作業件数	34
4. 初年次教育.....	35
1) 新入生対象コンピュータ実習の実施	35
5. 情報化推進 WG 開催状況	36
6. その他.....	38
1) 研修等参加記録.....	38

参考

1) 組織・事務分掌 2013年4月1日現在	39
2) 蔵書・コレクション	40
3) 図書館施設・設備	41
4) 関係諸規程	42
神戸市外国語大学学術情報センター規程	42
公立大学法人神戸市外国語大学図書管理規程	43
神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程	45
神戸市外国語大学情報メディア教育施設利用規程	47
神戸市外国語大学学術情報部会規程	49
公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針	50
神戸市外国語大学学術情報センター図書館利用規則	52
神戸市外国語大学学術情報センター図書館文献複写要項	57
神戸市外国語大学学術情報センター市民利用制度実施要綱	59
神戸市外国語大学学術情報センター国立国会図書館送信資料利用要項	60
5) 沿革	61
6) センター長（図書館長）	64

図書館部門
活動状況

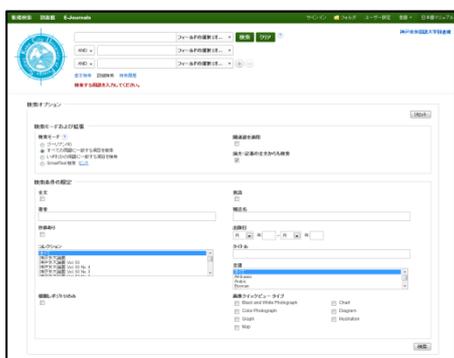
1. 2013 年度主な出来事

2013 年

- 4月 1日(月) 学術情報リポジトリ正式運用開始
ディスカバリーサービスの提供開始
デジタルサイネージによる広報開始
- 4月 17日(水)～5月 22日(水) 初年次教育を1年クラスごとに実施(水曜6回 土曜3回)
- 4月 25日(木) 洋装漢籍本廻及入力開始
- 5月 28日(火), 29日(水) トライやる・ウィーク受入(太山寺中学)
- 6月 11日(火), 12日(水) トライやる・ウィーク受入(多聞東中学)
- 7月 10日(水)～9月 30日(月) 専用図書の点検を実施
- 8月 14日(水) 「子ども参観日」職場見学実施
- 8月 16日(金)～8月 23日(金) 蔵書点検中に書庫内の雑誌・旧分類図書を移動
- 8月 26日(月) 閲覧室に教員著作コーナーを設置
- 11月 12日(火), 13日(水) トライやる・ウィーク受入(竜が台・長坂中学)
- 11月 13日(水) 選書ツアー
- 12月 11日(水) 選書ツアー茶話会, ミニビブリオバトル

2014 年

- 1月 7日(火) 「神戸市外国語大学学術情報センター国立国会図書館送信資料利用要項」制定
- 2月 12日(水)～3月 31日(月) トイレ改修工事
- 2月 20日(木) ロビーロールカーテン取替え工事
- 2月 24日(月)～3月 31日(月) 書庫3階集密書架改修工事 書庫3階資料・施設利用中止
- 3月 19日(水)～3月 31日(月) ロビー改修, ラーニング・コモンズ設置工事
- 3月 21日(金) 第2閲覧室 LAN 有線化工事



①ディスカバリーサービス提供開始



②デジタルサイネージ導入

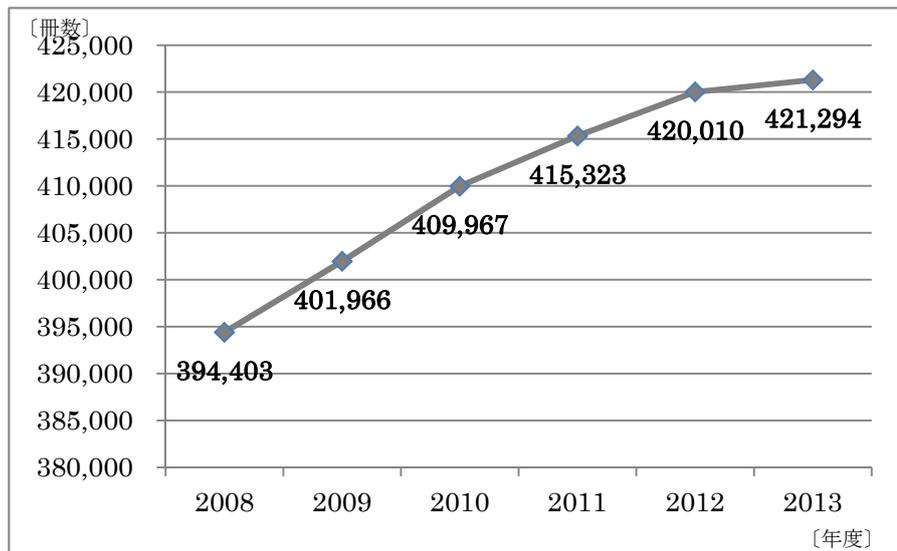
2. 蔵書数・受入数

1) 図書

2013 年度蔵書構成

(単位：冊)

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	合計	
2008 年度	61,512	14,944	29,795	72,246	5,713	4,428	7,597	7,350	33,381	72,092	85,345	394,403	
2009 年度	62,005	15,098	30,147	73,928	5,769	4,520	7,708	7,483	34,395	72,747	88,166	401,966	
2010 年度	62,574	15,289	30,541	75,723	5,851	4,644	7,842	7,600	35,095	73,330	91,478	409,967	
2011 年度	63,391	15,526	31,112	76,435	5,980	4,796	8,002	7,760	36,056	73,978	92,287	415,323	
2012 年度	63,972	15,668	31,504	76,875	6,013	4,887	8,092	7,935	36,815	74,605	93,644	420,010	
	和書	41,680	12,538	19,877	55,718	4,915	3,851	5,667	5,283	17,769	32,914	34,460	234,672
2013 年度	洋書	22,499	3,251	12,017	22,411	1,159	1,068	2,481	2,892	20,340	42,720	55,784	186,622
	計	64,179	15,789	31,894	78,129	6,074	4,919	8,148	8,175	38,109	75,634	90,244	421,294



開架冊数

2010 年度	85,676 冊
2011 年度	88,252 冊
2012 年度	90,496 冊
2013 年度	84,995 冊

受入・除却数

(単位：冊)

	和書			洋書			合計	除却数
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計		
2010 年度	5,453	724	6,177	1,881	155	2,036	8,213	212
2011 年度	5,209	732	5,941	1,619	476	2,095	8,036	2,680
2012 年度	4,450	767	5,217	1,699	120	1,819	7,036	2,349
2013 年度	4,218	972	5,190	1,484	104	1,588	6,778	4,022

※2011 年度：購入は一般図書と専用図書の合計。寄贈は保管転換を含む。

2) 雑誌・新聞

雑誌

(単位：種)

日本語雑誌	外国語雑誌							計	総計
	英米	ロシア	中国	イスパニア	独仏	その他			
3,861	679	90	582	48	106	12	1,517	5,378	

※ 電子ジャーナルは含めず。

受入数

(単位：種)

	和雑誌			洋雑誌			合計
	購入	寄贈	計	購入	寄贈	計	
2010年度	224	1,227	1,451	336	4	340	1,791
2011年度	226	1,233	1,459	337	5	342	1,801
2012年度	226	1,240	1,466	339	6	245	1,811
2013年度	219	1,235	1,454	298	10	308	1,762

新聞

(単位：紙)

	日本語新聞	外国語新聞						計	総計
		英米	ロシア	中国	イスパニア	独仏	その他		
所蔵	14	18	6	15	5	3	4	51	65
2013受入	11	6	1	5	1	1	0	14	25

※ オンラインデータベース収録紙は含めず。

2009年1月より新聞データベースを導入

Newspaper Direct Library PressDisplay: 48言語、1700紙以上の各国新聞が60日間閲覧可能

3) 視聴覚資料

所蔵状況

(単位：点)

	ビデオ (カセット)	レーザー ディスク	オーディオ (カセット)	オーディオ (オープン)	レコード	CD	ビデオ CD	DVD	合計
2010年度	1,903	727	984	53	129	279	117	2,358	6,550
2011年度	1,903	727	984	53	129	324	117	2,779	7,016
2012年度	1,903	727	984	53	129	342	117	3,257	7,512
2013年度	1,903	727	984	53	129	343	117	3,620	7,876

※MP3はCDに含む

2013年度 受入・除却数

(単位：点)

	ビデオ (カセット)	レーザー ディスク	オーディオ (カセット)	オーディオ (オープン)	レコード	CD	ビデオ CD	DVD	合計
受入	0	0	0	0	0	1	0	364	365
除却	0	0	0	0	0	0	0	1	1

3. 図書館サービス

1) 開館状況

開館時間帯	9:00—	9:00—	9:00—	9:00—	9:00—	10:00—	17:00—	(単位：日)		
	13:00	16:30	21:10	21:20	21:30	18:00	21:10	開館日数	休館日数	市民開放日数*
開館時間数	4:00	7:30	12:10	12:20	12:30	8:00	4:10			
4月		4	12	3		3	1	23	7	7
5月			16	4		3	1	24	7	3
6月			15	4		5	1	25	5	5
7月			5	1	16	4		26	5	4
8月		5	7	1	3	1		17	14	14
9月		5	10	3		2	1	21	9	21
10月			17	4		4	1	26	5	8
11月			15	5		4	1	25	5	4
12月			14	4		2	1	21	10	21
1月			4	1	13	2		20	11	2
2月		11			6	2		19	9	13
3月		13						13	18	13
計(日)		38	115	30	38	32	7	260	105	115

【休館日】 日曜日・祝日、休業期間中の土曜日、年末年始、蔵書点検期間(8月・3月)
 *2013年度は12月2日から12月16日の11日間を利用可能日として拡充実施した。

開館時間

授業期間	月—木	9:00—21:10
	金	9:00—21:20
	土	10:00—18:00
休業期間	月—金	9:00—16:30

※ 毎月第3木曜日は館内整理日のため、17:00まで閉館。

※ 試験対応期間(試験前と試験期間中)の平日には、21:30まで開館。

各フロア利用時間

期間	曜日	第一閲覧室	第2閲覧室	視聴覚ブース
授業期	月—木	9:00—21:10		9:00—20:55
	金	9:00—21:20		9:00—21:05
	土	10:00—18:00	閉室	10:00—17:45 ※第一閲覧室のみ
休業期	月—金	9:00—16:30	閉室	9:00—16:15 ※第一閲覧室のみ

2) 入館者数統計

入館者数

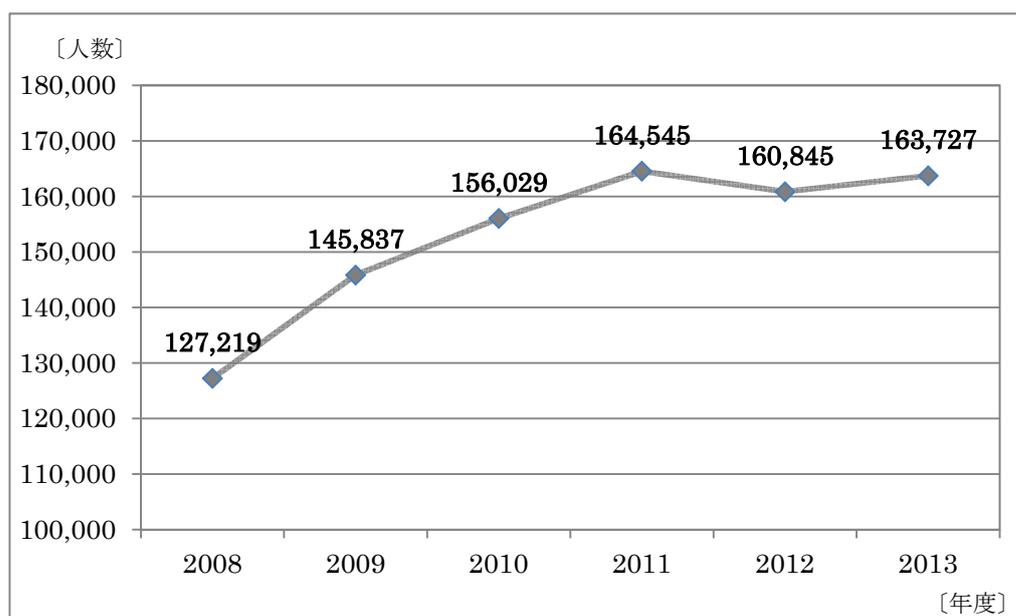
(単位：人)

	2013年						2014年						計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学部生	12,457	13,314	14,154	21,673	5,247	6,967	15,307	14,094	10,503	15,355	6,751	1,427	137,249
大学院生	710	865	702	909	294	381	811	749	571	519	238	137	6,886
教職員	1,391	1,555	1,457	1,553	838	936	1,372	1,367	1,208	1,231	1,259	992	15,159
卒業生	187	208	201	204	80	135	178	156	132	153	126	81	1,841
市民	169	145	210	195	352	369	223	199	232	105	211	182	2,592
計	14,914	16,087	16,724	24,534	6,811	8,788	17,891	16,565	12,646	17,363	8,585	2,819	163,727

1日平均の入館者数

(単位：人)

	2013年						2014年						通年
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全利用者	648	670	669	944	401	418	688	663	602	868	452	217	630
市民(内数)	24	48	42	49	25	18	28	50	11	53	16	14	23



入館者数推移

入館者数の年度推移表

(単位：人)

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013
入館者数	127,219	156,837	156,029	164,545	160,845	163,727

3) 貸出統計

貸出冊数

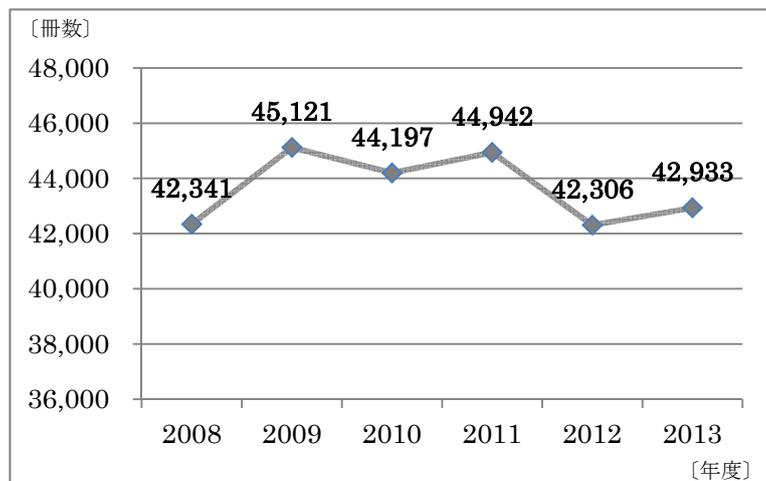
(単位：冊)

	2013年							2014年					計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学部生	2,297	2,522	2,752	4,309	1,515	1,537	3,210	3,230	3,011	3,667	1,482	358	29,497
大学院生	368	322	327	461	182	269	318	337	426	382	225	107	3,695
教職員	558	453	431	438	267	293	384	476	344	359	270	162	4,410
卒業生	138	133	128	169	56	101	117	140	109	113	59	1	1,227
市民	390	277	391	317	364	392	406	392	342	333	335	246	4,104
計	3,751	3,707	4,029	5,694	2,384	2,592	4,435	4,575	4,232	4,854	2,371	874	42,933

1日平均の貸出冊数

(単位：冊)

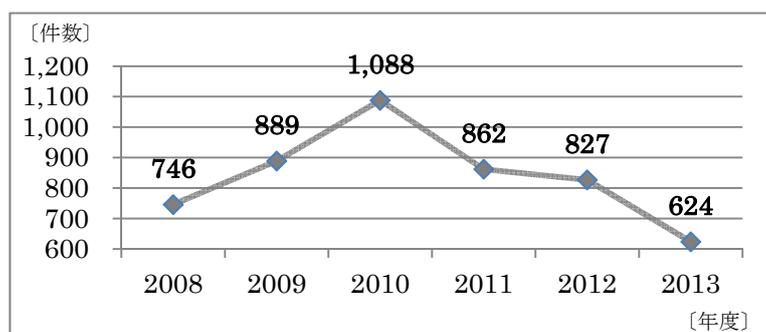
	2013年							2014年					通年
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
全利用者	163	154	161	219	114	123	171	183	202	242	125	67	165
市民(内数)	56	92	78	79	26	19	51	98	16	167	26	19	36



貸出冊数の推移

年度	貸出者総数	貸出冊数
2008	20,169	42,341
2009	21,900	45,121
2010	22,649	44,197
2011	23,402	44,942
2012	22,013	42,306
2013	22,075	42,933

貸出冊数推移



予約件数の推移

年度	予約件数
2008	746
2009	889
2010	1,088
2011	862
2012	827
2013	624

予約件数推移

4) レファレンス

年度	件数
2011	3,217
2012	2,788
2013	2,251

5) 相互協力

図書貸借 (単位:冊)					
年度	種別	借受	計	貸出	計
2011	大学	294	628	363	1,042
	公共*	334		679	
2012	大学	223	419	355	1,237
	公共	196		882	
2013	大学	247	396	310	1,012
	公共	149		702	

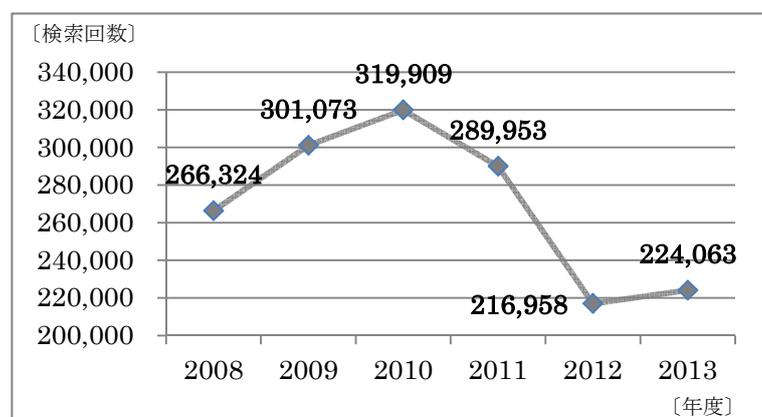
文献複写 (単位:冊)		
年度	取寄	提供
2011	466	418
2012	332	339
2013	307	288

* 公共：2001年度から行っている神戸市立図書館との相互貸借

神戸研究学園都市大学図書館相互利用* (単位:冊)		
年度	借受	貸出
2011	80	90
2012	36	96
2013	54	51

* 神戸研究学園都市大学交流推進協議会の加盟大学が地域内の大学図書館の相互協力のため1998年から開始した直接貸出制度

6) OPAC(蔵書検索)利用統計



OPAC(蔵書検索)利用推移

7) データベース利用統計

提供データベース一覧

種別		言語	名称	略称	収録分野
電子ジャーナル	国内	日	CiNii Articles	CiNii A	全分野
		国外	英	JSTOR	JSTOR
			Academic Search Premier	ASP	全分野
			Literature Online	Lion	文学
			Cambridge Books Online	CBO	全分野
			MLA International Bibliography	MLA	言語
		西	Fuente Academica Premier*	FAP	全分野
電子書籍	国外	英	Gale Virtual Reference Library	GVRL	全分野
			Oxford English Dictionary Online	OED	言語
			Oxford Dictionary of National Biography Online	ODNB	人物
			Encyclopaedia Britannica Online	EB	百科事典
			Max Planck Encyclopedia of Public International Law	MPEPIL	国際公法
データベース	国内	日	Japan Knowledge Lib	JK	百科事典
			聞蔵Ⅱ ビジュアル	聞蔵Ⅱ	新聞記事
			日経テレコン 21	日経	新聞記事
			Magazineplus	MagPlus	全分野
	国外	英	British National Corpus	BNC	コーパス
			WordbanksOnline	Wordbanks	コーパス
			Linguistics and Language Behavior Abstracts	LLBA	言語
			Translation Studies Bibliography	TSB	翻訳
			Handbook of Translation Studies Online	HTS	翻訳
	中		CNKI	CNKI	全分野
			人民日報*	人民日報	新聞記事
その他			NewspaperDirect Library PressDisplay	NLDPD	新聞記事

Fuente Academica Premier*及び人民日報*は 2013 年度より提供開始

利用統計

(単位：検索回数)

	CiNii A	ASP	JSTOR	CNKI	LLBA	MLA	Lion	JK	EB	OED	ODNB	MPE PIL
2008 年度	7,015	3,068	—	—	118	244	—	—	145	1,172	213	—
2009 年度	15,887	3,542	545	—	203	323	—	3,069	310	780	321	—
2010 年度	20,220	4,527	770	—	333	393	—	2,349	338	669	183	—
2011 年度	18,651	3,883	773	—	367	536	—	2,701	456	423	153	17
2012 年度	16,955	4,576	1,918	1,577	732	881	718	2,013	555	1,569	81	105
2013 年度	15,929	10,068	1,831	1,850	5,572	6,497	7,826	1,557	681	671	37	79

電子ブック

(単位：タイトル)

年度	提供タイトル数
2010	77
2011	158
2012	234
2013	234

電子ジャーナル

(単位：タイトル)

年度	提供タイトル数
2010	2,252
2011	2,506
2012	4,769
2013	4,984

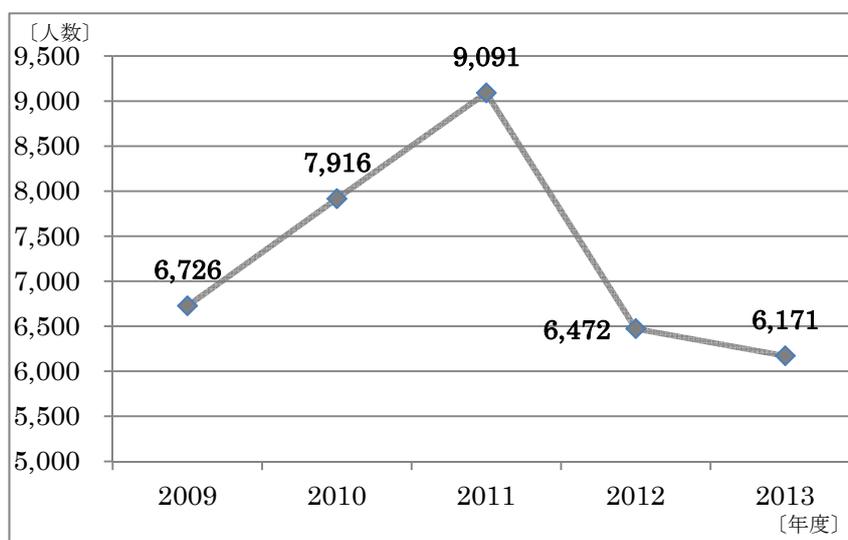
8) 視聴覚ブース利用状況

視聴覚ブース利用

(単位：点)

年度	ビデオ	LD	CD	DVD	衛星 放送他	持込	計
2009	270	506	26	5,450	143	331	6,726
2010	209	441	49	6,571	163	483	7,916
2011	175	451	62	7,757	136	510	9,091
2012	179	368	34	5,293	108	490	6,472
2013	108	324	31	5,091	289	328	6,171

※2009年度から図書館で提供開始。



年度別利用人数

4. 図書館活動

1) ゼミ対象図書館ガイダンスの実施

38名の教員より申し込みがあり、43コマのガイダンスを実施した。教員数・回数とも前年度を大幅に上回った。2013年度は、演習問題を配布し、ゼミのテーマに沿った実習中心の情報探索指導を行った。

年度	教員数	実施回数	学生数
2009	23	29	261
2010	24	28	225
2011	25	30	247
2012	27	31	217
2013	38	43	283

2) 選書ツアー・ミニビブリオバトル

11月13日、三宮センター街にあるジュンク堂書店で第3回選書ツアーを実施した。6名の応募があり、その全員が参加した。購入した図書は125冊(247,311円)。選定された図書の内容は、文芸、社会科学をはじめとして、芸術関係の美術書、書店関係の本など幅広い分野となった。実施後に行ったアンケート結果からは、また参加したいかを尋ねる設問に全員が「参加したい」と回答する等今年度も好評だったことが読みとれた。

2013年12月から2014年3月の間、館内にコーナーを設けて選定図書の展示・貸出を行った。また、12月11日には参加者が集まり、展示用のPOPの作成、ミニビブリオバトルを実施し、学術情報センター長との懇談会を催した。

応募・参加者数

学科	英米	ロシア	中国	イスパニア	国際関係	Ⅱ部英米	合計
応募数	0	0	1	0	2	3	6
参加者数	0	0	1	0	2	3	6

同日、選書ツアー参加者によるミニビブリオバトル*を開催した。

開催日	会場	参加者数 (発表者数)	チャンプ本
12月11日(水)	センター長室	9(4)	谷川俊太郎著『ミライノコドモ』(岩波書店, 2013.6)

*ビブリオバトルは、全国で広まっている新しい形式の読書会。公式ルールは、発表者が順番に一人5分間その本の魅力について紹介し、各2~3分のディスカッションを経て、参加者全員による投票を行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。



3) 初年次教育の実施

4月から5月にかけて、下記の日程で初年次教育を実施した。内容の概要は下記の通り。

	実施日時	
	日	限
・ 図書の上質な探し方 蔵書検索の方法を具体的な例を挙げて説明	4月17日(水)	3限
・ インターネットからの予約 貸出中の図書の予約、返却期限延長の方法を説明	4月24日(水)	3限
・ 図書館にないときの入手方法 購入希望制度、他図書館からの取り寄せについて紹介	5月8日(水)	3限
・ レポートに使えるデータベース 購入希望制度、他図書館からの取り寄せについて紹介	5月11日(土)	2限
・ レポートに使えるデータベース JapanKnowledge+(百科事典)、聞蔵Ⅱビジュアル / 日経	5月15日(水)	3限
・ レポートに使えるデータベース テレコン 21(新聞記事検索)、CiNii Articles(論文検索)など	5月18日(土)	2限
・ レポート作成に利用できるデータベースを紹介	5月18日(土)	4限
・ 検索演習	5月22日(水)	3限
・ 図書館見学(閲覧室および書庫)	5月22日(水)	5限

このほか、インターネット上の情報と図書館で契約しているデータベースとの違い、取り扱い方などについても言及した。参加者数は全体で96名と、昨年と比較すると増加したが、対象者全体の2割程度に止まる。

4) Reユースの実施

昨年度に引き続き Re ユースを実施した。これは学習・研究支援を目的として、図書館所蔵本等のうち重複や改版などの理由で廃棄予定となった資料を、図書館利用者(学生、教職員、卒業生対象。市民利用者は除く)に無償で譲渡するものである。具体的には Re ユースコーナーを図書館ロビーに設け、自由に持ち帰っていただいた。好評につき、4月、7月、11月の3回実施することとなった。

また今年度は初の試みとして、廃棄雑誌を Re ユース資料として提供した。雑誌のみの Re ユース率は約36%であり、高いとはいえないが、支持は得ているため今後も継続していく見込みである。

実施概要は下記のとおり。

	第3・4回 2013年4月・7月	第5回 2013年11月	合計
用意した冊数	1,811	129	1,940
Re ユース冊数	1,352	117	1,469
残冊数	459	12	471
Re ユース率	約75%	約91%	約76%

※第3・4回については、第3回時に用意した資料を引き続き提供したため、合算集計している。

※第5回については、図書資料以外にも廃棄雑誌を併せて提供している。

5) 館報・Newsletterの発行

センターだより「AD ALTIORA SEMPER」第38号、第39号を発行した。各号の内容は以下のとおり。



第38号 (2013年6月30日発行)

- ・紙と空間 (船山仲他理事長・学長)
- ・著書紹介 はじめて学ぶ日本語学：ことばの奥深さを知る 15章 (益岡隆志教授)
- ・学術情報をまとめて検索 ディスカバリーサービスの紹介 (谷本千栄)
- ・ロシア語学学習への誘い ロシア語えほんコーナーができました
- ・本のリサイクル活動 Reユースコーナーはじめました
- ・図書館日誌



第39号 (2013年11月29日発行)

- ・運命を楽しむ余裕 (中村嘉孝教授)
- ・著書紹介 あめりかいきものがたり 動物表象を読み解く (辻本庸子教授)
- ・秋の図書館イベント 第3回選書ツアーを開催しました
- ・洋装漢籍資料の遡及終了報告 洋装の漢籍資料約1万8000冊が、OPACで検索できるようになりました
- ・先生の本を読もう！ 教員著作コーナーができました
- ・気軽にスペイン語！ スペイン語の児童書コーナーができました
- ・図書館日誌

また、より身近で速報性の高い広報媒体として図書館からのお知らせを中心とする『外大図書館 Newsletter』を昨年度に引き続き4号発行した。各号については以下のとおり。

- ・No.5 新入生歓迎号 (2013年4月5日発行)
- ・No.6 SUMMER (2013年7月31日発行)
- ・No.7 AUTUMN (2013年11月1日発行)
- ・No.8 WINTER (2014年1月27日発行)



6) 展示および新設コーナー

所蔵資料の展示として、①企画展示（閲覧室入口正面）および②テーマ展示「司書のおすすめ D (Display)」(カウンター前)を行った。さらに、閲覧室壁面に③新コーナーを設けた。

種別	期間	テーマ
① 企画展示	2013年4月～	大学生の本棚「スタディスキルズ」を磨く編
	2013年9月～	大学生の本棚「はたらく」を考える編
	2013年9～10月	市民講座関連資料展示
② テーマ展示 「司書のおすすめ D(Display)」	第20回 2013年4～5月	英米学科：英語を磨く！
		ロシア学科：ロシア語を磨く！
		中国学科：中国語を磨く！
		イスパニア学科：スペイン語を磨く！
		国際関係学科：国際関係学入門
	第21回 2013年6～7月	英米学科：英語で書く
		ロシア学科：写真で紐解くロシア
		中国学科：中国の56民族
		イスパニア学科：インカ帝国
	第22回 2013年10～11月	国際関係学科：為替からみる国際関係
		英米学科：英語で語る日本
		ロシア学科：ロシア絵画に親しむ秋！
中国学科：中国美術		
イスパニア学科：日本スペイン交流史―慶長遣欧使節を中心に		
第23回 2013年12月～ 2014年3月	国際関係学科：貧困について考える	
	英米学科：アリス・マンローとカナダの作家	
	ロシア学科：味わう！ロシアンキッチン	
	中国学科：毛沢東生誕120周年	
③ 新設コーナー	2013年4月～	ロシア語児童書コーナー
	2013年9月～	教員著作コーナー
		スペイン語児童書コーナー
	2013年12月～	英語資格/試験対策図書コーナー

7) 図書データ遡及の実施

2013年4月から10月にかけて、書庫2階に配架している「漢籍」のうち洋装の資料について、書誌・所蔵情報の遡及入力事業を行った。委託事業とし、予め当館司書職員から本事業の趣旨目的と実作業手順の説明を受けた上で、受注先から派遣された2名が、当館内にて実作業に当たった。

結果、新たに計15,995冊について、NACSIS-CATに所蔵を登録し、本学図書館のローカルデータベースに書誌・所蔵情報を登録することができた。なお、NACSIS-CAT上で書誌がノーヒットだった約350冊については、当館の司書職員がNACSIS-CAT上で書誌を新規作成した上で、実作者2名が所蔵登録とローカルデータベースへの書誌・所蔵情報の登録を行った。

本遡及事業が完了したことにより、2012年度までに登録済みであった約32,000冊と合わせて、合計約48,000冊の中国語の図書資料(現代中国語と漢籍)について、書誌・所蔵情報を、学内・学外の利用者に提供できることとなった。

その中には、基礎資料はもちろんのこと、国内では本学のみが所蔵しているものや、北京図書館(中国国家図書館)や台湾の国家図書館でも所蔵していないものなど、貴重な資料も数多く含まれている。

5. 機関リポジトリについて

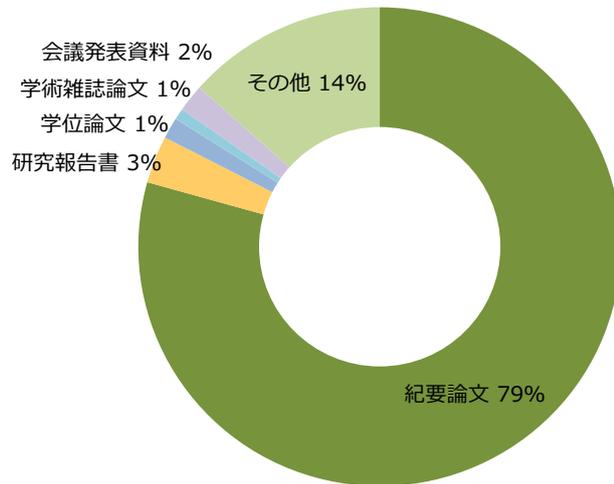
本学の学術情報リポジトリは2013年4月1日より正式運用を開始した。

コンテンツ数およびアクセス数については以下のとおり。

1) コンテンツ種別内訳

	メタデータ	本文あり
紀要論文	945	593
研究報告書	38	20
学位論文	17	4
学術雑誌論文	9	9
会議発表資料	22	19
その他*	160	160
合計	1191	805

その他*：紀要の表紙など
[数値は2014年3月時点のもの]

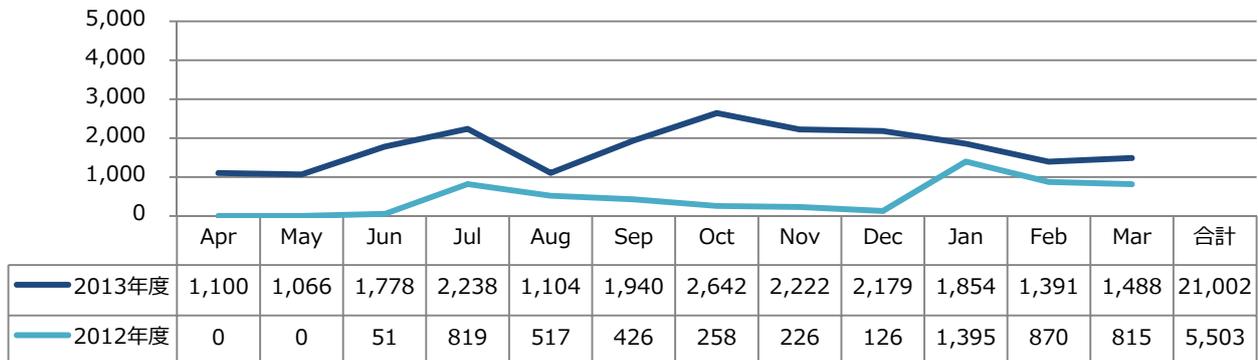


2) アクセス統計

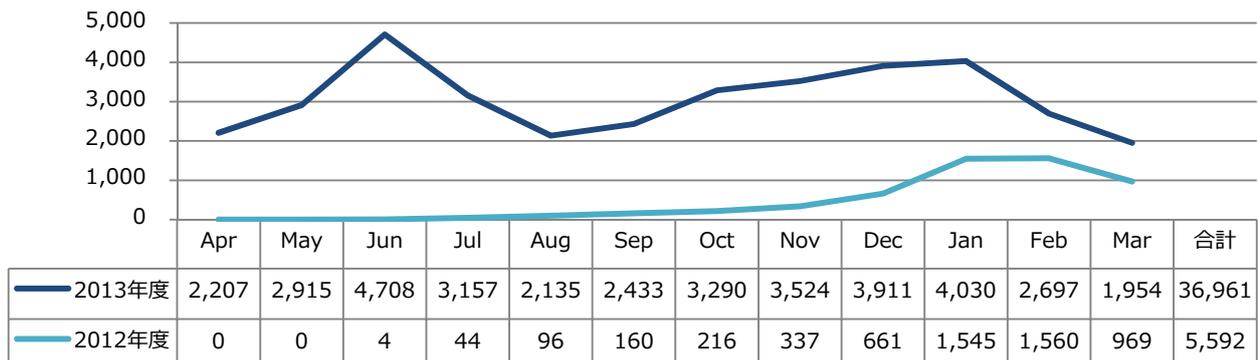
閲覧回数 21,002

ダウンロード回数 36,961

閲覧回数



ダウンロード数



6. 地域貢献

1) 市民利用制度実施状況

1.制度の概要

図書館の利用を通じて市民の生涯学習に貢献するために、2007年12月より実施している。

授業期間中の土曜日、授業のない時期は平日に市民利用を行っている。18歳以上、市在住・在勤であれば年間500円の登録料で閲覧・複写・貸出（5冊・2週間）が利用可能である。

2.利用可能日の拡充

地域貢献をさらにすすめるため、通常は利用できない授業期の平日のうち、期間を決めて試行的に市民の利用ができるようにした。

2013年度は、2012年度に引き続き9月のほか12月の平日を利用可能日とした。今後、学術情報部会でさらに拡充についての検討をすすめていく。

3.利用状況

	日数	登録者数	入館者数	貸出冊数
2010年度	112	161	1,710	2,359
2011年度	110	176	1,958	2,690
2012年度	116	179	2,460	3,307
2013年度	115	220	2,592	4,104

年代別登録状況

(単位：人)

年代別	18～	20代	30代	40代	50代	60代～	計
2010年度	0	22	24	34	39	42	161
2011年度	1	30	25	35	27	58	176
2012年度	0	15	28	37	39	60	179
2013年度	0	32	36	40	38	74	220

居住地別登録状況

(単位：人)

区	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	市外	計
2010年度	5	4	7	2	6	4	31	45	55	2	161
2011年度	5	3	5	2	6	4	25	61	59	6	176
2012年度	3	1	4	3	0	3	28	49	82	6	179
2013年度	6	3	9	4	9	10	35	52	85	7	220

2) トライやる・ウィークの受入れ

兵庫県内中学2年生の職場体験である“トライやる・ウィーク”の学生の受入を行った。本学での5日間の体験期間のうち、2日間を図書館で体験してもらった。

内容としては、カウンター業務をはじめ、図書の整理、排架、検索、リスト作成などの図書館業務全般。

	期間	人数
太山寺中学校	5/28(火)~5/29(水)	2
多聞東中学校	6/11(火)~6/12(水)	2
竜が台中学校	11/12(火)~11/13(水)	2
長坂中学校	11/12(火)~11/13(水)	2

7. 学術情報部会

・学術情報部会は、学術情報センターに関する、以下の事項について審議する。

- (1) 資料の選択・収集・保存に関する事項
- (2) 情報発信・機関リポジトリに関する事項
- (3) 利用サービスの向上に関する事項
- (4) 地域貢献・市民開放に関する事項

1) 2013 年度委員

部会長 益岡 隆志 学術情報センター長
委員 三島 篤志 准教授 英米学科
委員 井上 幸和 教授 ロシア学科
委員 任 鷹 教授 中国学科
委員 (前期) J.ロメロ・ディアス 講師 イスパニア学科
(後期) 川口 正通 講師
委員 丹生谷貴志 教授 国際関係学科
委員 友田 康信 准教授 法経商
委員 芝 勝徳 教授 総合文化
委員 喜多 泰志 学術情報センターグループ長

2) 開催記録

第1回 2013年4月24日(水) 13:30~14:30

- 1) 2012年度図書館活動報告
- 2) 2013年度活動計画について
- 3) 新聞の保存年限のみなおしについて
- 4) 2014年度新規購入外国雑誌について

[その他] ① 学科別視聴覚資料の選定について
② 図書館利用細則等の制定について

第2回 2013年6月12日(水) 13:30~14:30

- 1) 専用図書の点検について
- 2) 初年次教育報告
- 3) 図書館ロビー改修計画進捗状況

第3回 2013年10月2日(水) 13:30~14:30

- 1) 図書館ロビー改修計画・進捗状況
- 2) 2014年初年次教育実施計画
- 3) 今後の書庫利用について
 - ① 今後の書庫利用計画
 - ② 2013年度の移動
 - ③ 新聞の保存年限設定

④ 卒論の保管年限の設定と返却

4) 図書館利用の利用促進策について

開館時間・貸出冊数の見直し

第4回 2014年1月29日(水) 13:30~14:30

[審議] 1) 2013年度自己点検評価・2014年度年度計画作成
市民利用制度の拡充について

2) 図書館ロビーの運用について

[報告] 1) 図書館施設改修に伴う一部サービスの停止について
図書館ロビー・トイレ改修
書庫3F集密書架の改修

2) 2014年度初年次教育実施計画

3) 開館時間、貸出冊数の変更について

4) 専用図書の点検について

5) 国立国会図書館送信電子化資料の利用について

8. 図書館関連経費

1) 予算の推移

(千円)

	2010	2011	2012	2013	2014
図書館資料費 (雑誌・データベース含む)	32,207	32,207	32,207	32,207	33,129
視聴覚資料費	1,238	1,238	1,238	1,238	1,274
教員研究図書	16,654	16,654	16,294	16,294	13,094
図書館運営費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,250
電算機運営	32,800	32,800	23,400	23,200	22,393
リフト保守	208	208	189	189	195
入退館システム	1,890	1,890	--	--	--
小計	85,997	85,997	74,328	74,128	71,335
リポジトリ運営	0	0	2,697	100	2014より運営 費に含まれる
データ整備	0	0	5,250	5,000	5,000
小計	0	0	7,947	5,100	5,000
合計	85,997	85,997	82,275	79,228	76,335

2) 2013 年度決算

経常

図書館資料費	(千円)
執行額	
一般図書	10,139
雑誌	18,484
視聴覚資料	969
電子ジャーナル	4,086
電子書籍	781
データベース	2,713
合計	37,172

図書館運営費	(千円)
執行額	
図書館運営	1,000
リポジトリ運営	29
電算機運営	21,291
リフト保守委託料	189
合計	22,509

教員研究図書	(千円)
執行額	
専用図書	7,651
合計	7,651

臨時	(千円)
執行額	
図書データ整備	3,056
ロビー改修	7,664
集密書架改修	12,161
書庫棚板調達	1,346
事務室備品調達	945
合計	25,172

9. その他

1) 研修等参加記録

学術情報班

日程	用務・研修名	主催	会場
6/13	平成 25 年度大学図書館近畿イニシアティブ「中級研修」	大学図書館近畿イニシアティブ	大阪大学
6/20	第 9 回レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	国立国会図書館関西館
6/21	日経テレコンスクール	日本経済新聞社	日本経済新聞社大阪本社
6/21	New Education Expo2013「未来の教育を考える」	New Education Expo 実行委員会	大阪マーチャンダイズマート
8/2	富士通 大学図書館ソリューションセミナー「新たな時代を切り開く次世代図書館システム」	富士通株式会社文教ソリューション推進部	富士通 関西システムラボラトリ
8/21～23	目録システム講習会（雑誌コース）	国立情報学研究所	大阪市立大学
9/5～6	大学図書館コンソーシアム連合版元説明会	東京工業大学	大学図書館コンソーシアム連合
9/18～20	目録システム講習会（図書コース）	国立情報学研究所	神戸大学
9/19	国立大学図書館協会近畿地区協会講演会「携帯情報端末で広がる図書館サービス」	国立大学図書館協会近畿地区協会	滋賀医科大学
9/25～27	平成 25 年度学術情報ウェブサービス担当者研修	国立情報学研究所	国立情報学研究所
10/1～4	大学図書館職員短期研修	国立情報学研究所	京都大学
10/9	平成 25 年度兵庫県大学図書館協議会 施設見学会 「同志社大学良心館ラーニング・コモンズ」	兵庫県大学図書館協議会	同志社大学
11/8	平成 25 年度兵庫県大学図書館協議会研究会「電子書籍と大学図書館：ブレイクスルーの条件を探る」	兵庫県大学図書館協議会	神戸大学
11/21～22	第 99 回全国図書館大会福岡大会「あなたの未来をひらく図書館」	日本図書館協会	アクロス福岡
12/9～10	JAIRO Cloud 説明会	国立情報学研究所	兵庫県立大学 神戸情報科学キャンパス

2/19	平成 25 年度兵庫県大学図書館協議会 研修会「図書館職員のための図書 補修入門」	兵庫県大学図書館協議会	神戸大学
3/4	大学図書館セミナーin 関西「OPAC からディスカバリーインターフェ イスへ」	京セラ丸善システムインテグ レーション(株)	セミナーハウス クロス・ウェーブ梅田

2) 講師派遣等

日程	派遣内容	主催	会場
12/18~20	平成 25 年度目録システム講習会 (図書コース) 講師	国立情報学研究所	国立情報学研究所
12/9	JAIRO Cloud 説明・講習会 講師・ 実習補助	国立情報学研究所	兵庫県立大学 神戸情報科学キャンパス

3) 学外会議等参加記録

兵庫県大学図書館協議会

7/26 第 112 回総会 (関西学院大学)

公立大学図書館協議会

6/6 第 23 回事務長会 (高知会館)

6/7 第 45 回総会 (高知会館)

公立大学図書館協議会近畿地区協議会

2/18 総会 (奈良県立大学)

講演会 (奈良県立大学)

神戸研究学園都市大学交流推進協議会・図書館部会

7/5 第 35 回会議 (UNITY)

情報メディア部門
活動状況

1. 2013 年度の主な出来事

2013 年

- 4 月 4 日 (木) ・ 情報基盤更新に向けた学内検討体制始動
- 4 月 5 日 (金) ・ 「コンピュータネットワークの利用について」 新入生向けオリエンテーション実施
- 4 月 17 日 (水) ・ 第 1 回 初年次教育「コンピュータ・ネットワーク活用法」を実施 (6 月 22 日まで計 9 回実施)
- 5 月 8 日 (水) ・ 「教員コンピュータ・ソフトウェア利用手順書改訂版」及び「GAIDAI-NET ユーザーズガイド (専任用・非常勤用)」 学内限定 HP 公開
- 6 月 26 日 (水) ・ デジタル LL 機器デモンストレーション実施
- 7 月 1 日 (月) ・ TOEIC 対策の英語学習 e-Learning ASP 版 利用者募集による供用開始 (7 月から 9 月、10 月から 12 月の 2 期間、各期 30 名 計 60 名)
- 7 月 11 日 (木) ・ 情報基盤更新支援業者キックオフミーティング
- 8 月 14 日 (水) ・ 「子ども参観日」小学生の職場見学実施
- 11 月 24 日 (日) ・ 日本言語学会シンポジウム中継支援 (大ホール⇒第 2 学舎)
- 12 月 11 日 (水) ・ 第 2 AV 教室デジタル LL システム調達納入業者決定
- 12 月 22 日 (日) ・ 法定受電設備点検及び工事による学内停電

2014 年

- 1 月 29 日 (水) ・ 情報基盤システム業務委託事業者募集開始
- 3 月 17 日 (月) ・ 情報基盤システム業務委託優先交渉権者決定
- 3 月 14 日 (金) ・ 第 2 AV 教室更新

2. キャンパスネットワークシステム

1) ネットワークサービス利用者数

(単位:アカウント)

サービス種別 (セグメント)	専任教員 (inst)	非常勤講師	院生・学生 (ug,gs)	職員 (office)	職員 (lib)
AD 認証サービス	103 (109)	265 (257)	2,301 (2,414)	3 (3)	
教材 BOX サービス	18 (18)	13 (7)	2,301 (2,414)		
学内メールサービス	100 (109)		(2)	82 (70)	14 (17)
SSL 学外接続サービス	38 (41)				
Web メールサービス	14 (15)		2,301 (2,412)	1 (1)	

※()内は 2012 年度

2) ネットワークサービス登録状況

(単位:アカウント)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
アカウント	作成・更新	540	4	1	6	14	4	2	21	13	10	18	27	660
	削除	11	85	5	641	21	3	7	1	13	18	8	5	818
パスワード	再設定	15	4	3	6	6	12	7	1	0	4	5	8	71
メーリング リスト	作成	3	1	11	0	0	0	0	0	1	1	1	2	20
	削除	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	11
	メンバ変更	129	29	29	18	20	24	21	28	7	13	8	79	405
教材 BOX	作成	5	6	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	16
	削除	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3
合計		709	129	50	677	61	43	37	51	34	47	43	123	2,004

3) コンピュータ管理

i. 学内 LAN 接続コンピュータ

	コンピュータ数	構成管理登録済 コンピュータ数	構成管理未登録 コンピュータ数	登録率
教員	183	183	0	100%
事務局	93	93	0	100%
教室および共用 PC	328	328	0	100%
学務システム	9	0	9	0%
その他	8	8	0	100%
合計	621	612	9	99%

ii. 学内 LAN 非接続コンピュータ

	コンピュータ数	構成管理登録済 コンピュータ数	構成管理未登録 コンピュータ数	登録率
教員	123	123	0	100%
事務局	1	1	0	100%
教室および共用 PC	41	41	0	100%
図書館システム	44	44	0	100%
その他	22	22	0	100%
合計	231	231	0	100%

3. 情報メディア教育施設

1) 情報メディア教室

i. 概要

LL (Language Laboratory) 教室： 2室 (1 AV、2 AV)

CALL (Computer Assisted Language Learning) 教室： 3室 (3 AV、4 AV、5 AV)

応用視聴覚教室 (同時通訳ブース4室及会議システム)： 1室 (応用)

ii. 使用率

教室名	定員	2007 年度			2008 年度			2009 年度		
		時限数	使用率 (%)	使用率 (%)	時限数	使用率 (%)	使用率 (%)	時限数	使用率 (%)	使用率 (%)
CAI	48	8	13		5	8		9	14	
第1 AV	70	45	70		52	81		46	72	
第2 AV	48	42	66		39	61		52	81	
第3 AV	49	43	67	44	43	67	45	53	83	50
第4 AV	54	34	53		36	56		23	36	
第5 AV	54	39	61		39	61		53	83	
応用	40	6	9		12	19		21	33	
音声学		6	9		6	9				

教室名	定員	2010 年度			2011 年度			2012 年度		
		時限数	使用率 (%)	使用率 (%)	時限数	使用率 (%)	使用率 (%)	時限数	使用率 (%)	使用率 (%)
第1 AV	70	39	56		38	54		36	51	
第2 AV	48	45	64		35	50		30	43	
第3 AV	49	55	79	67	42	60	60	42	60	57
第4 AV	54	54	77		53	76		48	69	
第5 AV	54	45	64		45	64		47	67	
応用	60	41	59		38	54		38	54	

教室名	定員	2013 年度		
		時限数	使用率 (%)	使用率 (%)
第1 AV	70	38	54	
第2 AV	48	38	54	
第3 AV	49	40	57	58
第4 AV	54	48	69	
第5 AV	54	44	63	
応用	60	37	53	

- ★ 使用率 (%) = 時限数/70 (小数点以下四捨五入)
- ・ 2009 年度までの使用率 (%) = 時限数/64
- ・ 時限数は半期を1、通年または前期・後期の講義を2としてカウント
- ★ 2009 年度に音声学実験室はメディア編集室に改修
- ★ 2010 年度に CAI はマルチメディア教室2室に改修

2) 利用者支援サービス

情報メディア班では、教員や学生が快適にネットワーク環境を利用できるように、利用者支援サービスを提供している。

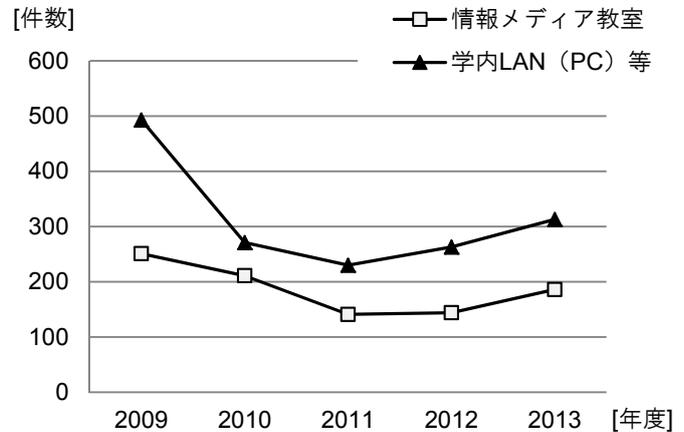
i. 利用者支援統計

(単位：件)

年度	情報メディア教室	学内LAN (PC) 等
2009	251	493
2010	211	271
2011	141	230
2012	144	263
2013	186	313

※対応例：

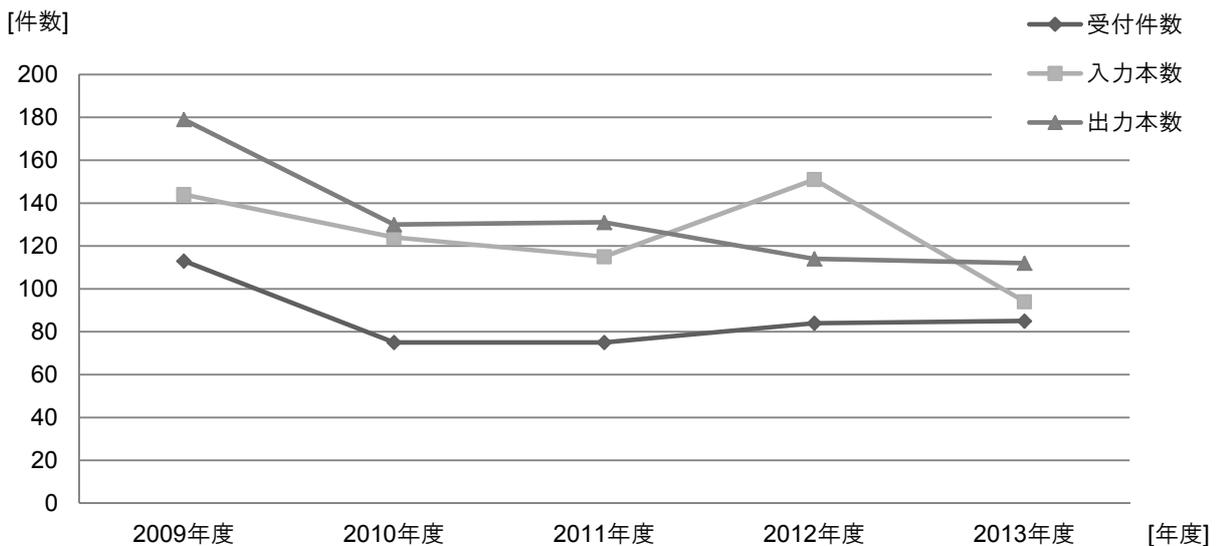
- ・ CALL 教室利用支援
- ・ AV 機器利用支援
- ・ コンピュータ利用方法等支援
- ・ コンピュータソフト利用方法等支援



利用者支援統計

ii. 教材作成統計

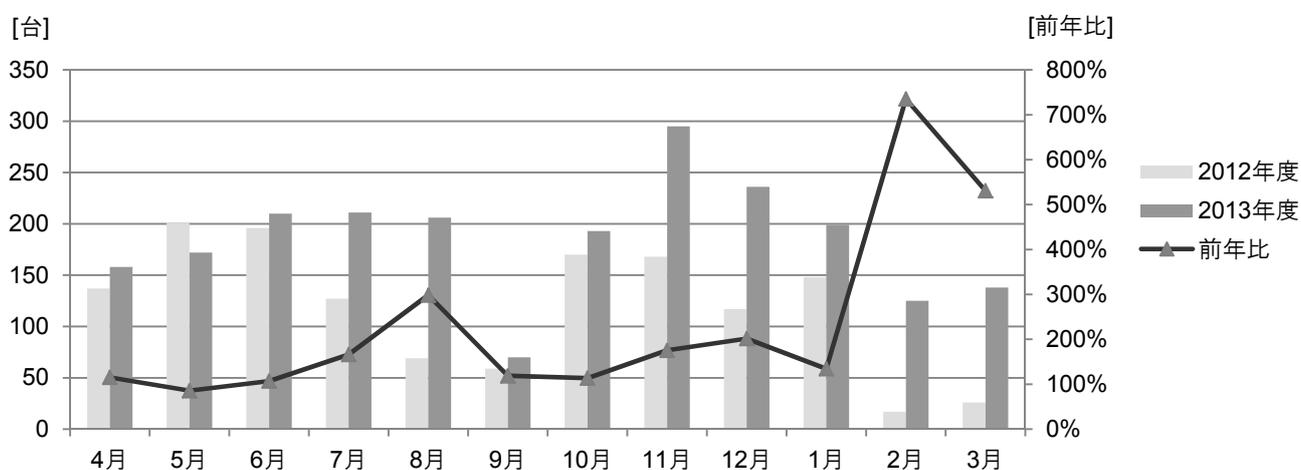
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
受付件数	113	75	75	84	85
入力本数	144	124	115	151	94
出力本数	179	130	131	114	112



教材作成統計 (年推移)

iii. 貸出ノート PC 利用統計

	2013 年												合計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
PC 貸出数	OS-Win	149	165	194	194	170	64	174	281	229	183	123	138	2064
	OS-Mac	9	7	16	17	36	6	19	14	7	16	2	0	149
	計	158	172	210	211	206	70	193	295	236	199	125	138	2213
前年比	115%	86%	107%	166%	299%	119%	114%	176%	202%	134%	735%	531%		
最大貸出数(日)	15	15	17	18	10	9	13	25	16	17	8	7		
貸出し利用日	23	26	26	27	31	24	28	30	31	30	26	31	333	
平均貸出数(台)	6.9	6.6	8.1	7.8	6.6	2.9	6.9	9.8	7.6	6.6	4.8	4.5	6.6	



貸出ノートPC利用台数の推移

3) 学生利用 PC 台数の推移

(単位：台)

年度	教室 CALL	PC 授業 貸出	ター ポート セン サ	キャ リア セン サ	セン ター	国際 交流	育 G ロビ ー	学生 支援 教	院 生 研 究 室	図 書 館	貸 出 P C 学 生 会 館	学 生 P C 室	ロ ビ ー 図 書 館	第 2 図 書 館 第 2 読 覧 室	学 生 会 館 2 F ロビ ー	そ の 他	合計
2007	151	10	4	2	2	20	14	11	24	12	-	8	-	8	-	258	
2008	151	6	4	2	3	12	14	29	24	12	-	7	1	7	1	265	
2009	155	20	4	2	-	14	12	29	24	12	-	5	1	5	1	278	
2010	157	33	4	2	4	14	12	32	24	12	-	8	3	8	3	305	
2011	157	33	4	2	4	14	12	32	24	12	24	8	3	8	3	329	
2012	160	33	4	2	2	19	4	32	24	12	32	8	1	8	1	333	
2013	160	32	4	2	2	19	4	38	24	12	32	8	1	8	1	338	

※ 2012年度より、図書館 OPAC を対象から除外しています。

4) 自習 PC 利用統計

i. PC 台数

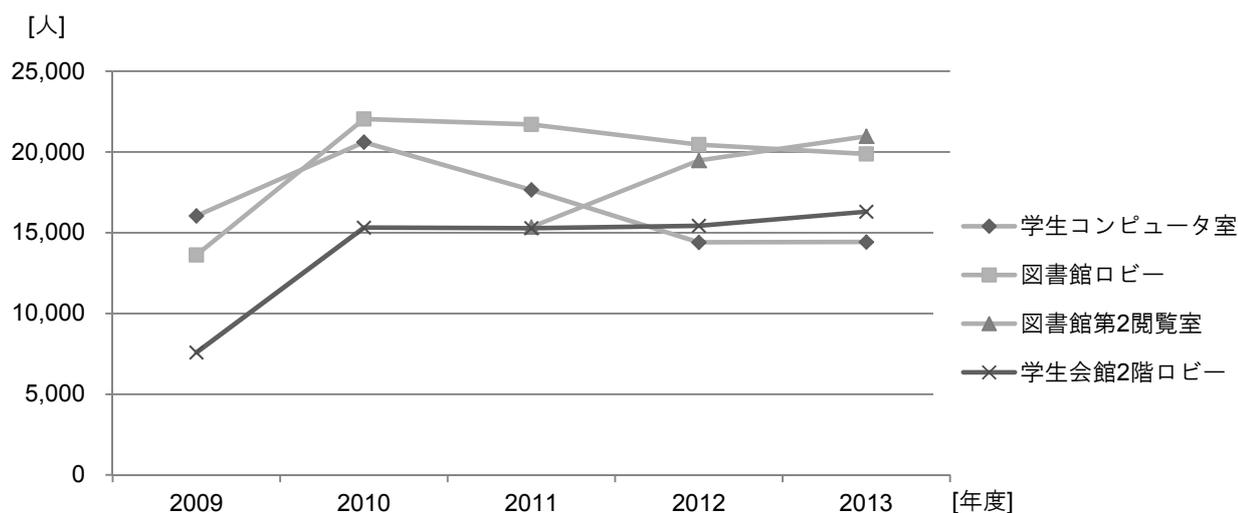
(単位：台)

年度	学生 コンピュータ室	図書館ロビー	図書館 第2閲覧室	学生会館 2階ロビー	合計
2009	24	12	—	5	41
2010	24	12	—	8	44
2011	24	12	24	8	68
2012	24	12	32	8	76
2013	24	12	32	8	76

ii. 利用者数

(単位：人)

年度	学生 コンピュータ室	図書館ロビー	図書館 第2閲覧室	学生会館 2階ロビー	合計
2009	16,043	13,622	—	7,581	37,246
2010	20,602	22,037	—	15,309	57,948
2011	17,645	21,700	15,347	15,277	69,969
2012	14,402	20,455	19,472	15,424	69,753
2013	14,421	19,871	20,965	16,298	71,555



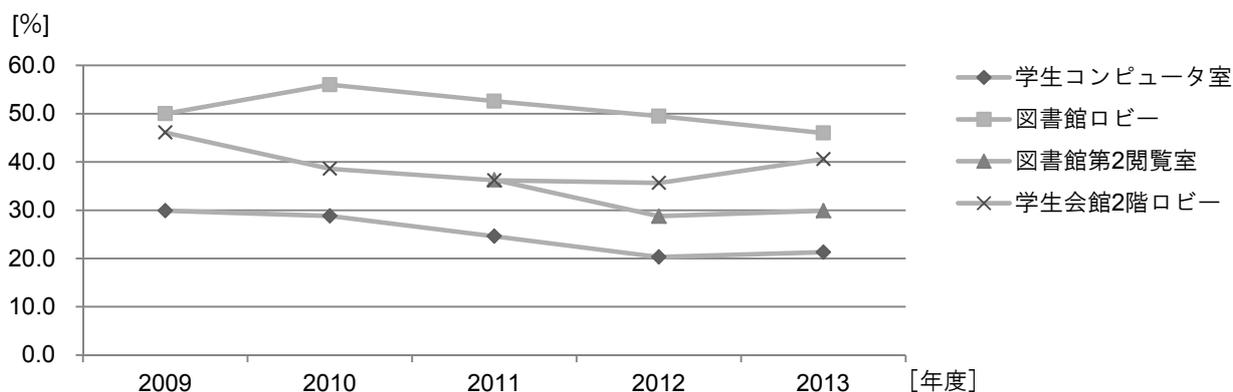
自習PC利用者数の推移

iii. 稼働率

(単位：%)

年度	学生 コンピュータ室	図書館ロビー	図書館 第2閲覧室	学生会館 2階ロビー	合計
2009	29.9	50.0		46.1	37.6
2010	28.8	56.0		38.6	38.4
2011	24.6	52.6	36.3	36.2	35.3
2012	20.3	49.5	28.7	35.6	30.6
2013	21.3	46.0	29.9	40.6	31.3

※稼働率=ログオン時間÷開放時間



自習PC稼働率の推移

5) 情報メディア教育環境の整備状況

学舎
(34教室)

101	102	103	104	105	106	107			
201	202	203	204	205	206	207	208	209	
301	302	303	304	305	306	307	308	309	
401	402	403	404	405	406	407	408	409	

第2学舎
(5教室)

501	502	503	504	505
-----	-----	-----	-----	-----

共同研究棟
(演習室 14)
(情報メディア教室 6)

601	602	603	604	605	606	607	608	609
610	611	612	613	614				
1AV	2AV	3AV	4AV	5AV	応用視聴覚			

第2研究棟
(演習室 4)

701	702	703	704
-----	-----	-----	-----

- DVD・ビデオ一体型デッキ
- Blu-ray/DVD/PCディスプレイ
- 情報コンセントのみ
- マルチメディア装置(OHC,DVD,VHS,操作卓)
- LL・マルチメディア
- CALL・マルチメディア
- 同時通訳・マルチメディア

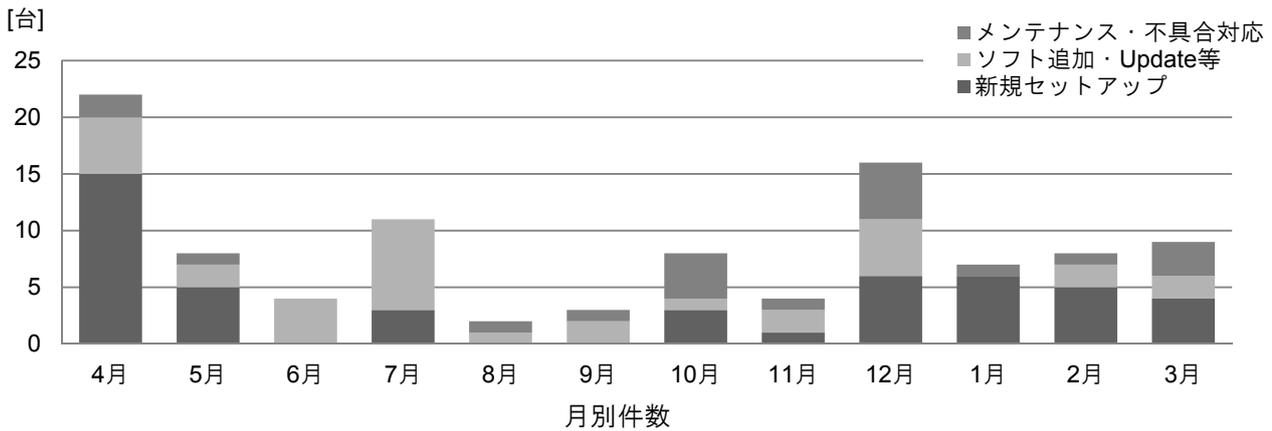
- ★ 全教室に教卓用情報コンセント設置
- ★ 409はDVD設置なし、VHSビデオデッキのみ
- ★ 610はBlu-ray設置なし、DVD/VHS/PCディスプレイ

6) PC セットアップ等作業件数

i. 月別件数

(単位：台数)

作業内容	OS	2013年						2014年			合計			
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
新規セットアップ	Win	11	3		2			2		5	4	2	3	32
	Mac	4	2		1			1	1	1	2	3	1	16
	小計	15	5		3			3	1	6	6	5	4	48
ソフト追加 Update等	Win			3	6		2	1		2		1	2	17
	Mac	5	2	1	2	1			2	3		1		17
	小計	5	2	4	8	1	2	1	2	5		2	2	34
メンテナンス 不具合対応	Win	1					1	3	1	4		1	2	13
	Mac	1	1			1		1		1	1		1	7
	小計	2	1			1	1	4	1	5	1	1	3	20
合計		22	8	4	11	2	3	8	4	16	7	8	9	102

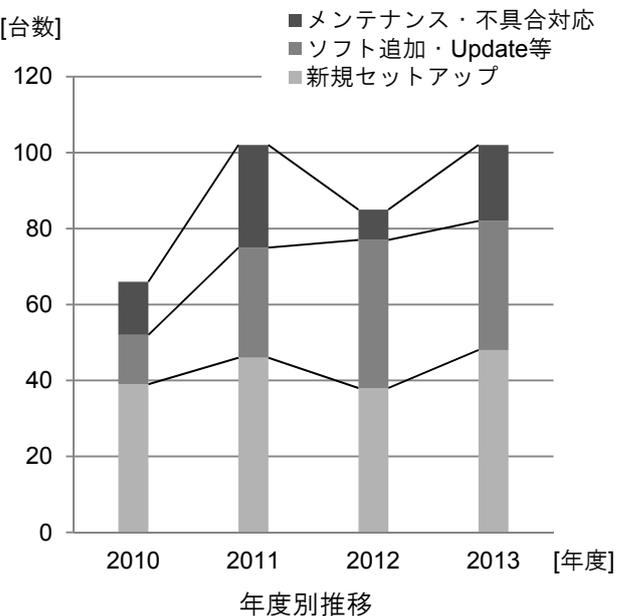


ii. 年度別推移

(単位：台数)

作業内容	OS	2010	2011	2012	2013
新規セットアップ	Win	21	28	24	32
	Mac	18	18	14	16
	小計	39	46	38	48
ソフト追加 Update等	Win	8	24	21	17
	Mac	5	5	18	17
	小計	13	29	39	34
メンテナンス 不具合対応	Win	8	16	7	13
	Mac	6	11	1	7
	小計	14	27	8	20
合計		66	102	85	102

[台数]



4. 初年次教育

1) 新入生対象コンピュータ実習の実施

今年度は図書館と情報メディア班と合同で新入生向け初年次教育を実施した。講義内容は「大学での学習に必要なスキルについて」とし、1コマ90分を45分ずつに分けて説明を行った。なお説明する内容については、時間が半分に減ったこともあり最も重要な項目のみ取り上げることにした。情報メディア班の講義内容は下記の通り。

- (1) 教材BOXの利用方法（実習）
- (2) 学内コンピュータのファイル保存場所
- (3) Eメールの書き方に関するルール
- (4) Eメールの利用方法（実習）

実習をメインに構成し、コンピュータが苦手な学生でも簡単に操作できるよう丁寧に説明した。また配布資料にも工夫を加え、ステップごとの画面ショットを多く取り入れ見やすくした。

アンケートでは、講義の理解度、時間配分、説明の分かりやすさとも肯定的な評価が9割と非常に高い結果となった。また高校の授業で教わらなかったEメールのマナーを知ることができたことへの評価が高かった。

i. 日別初年次教育実施一覧

番号	実施日時	人数
1	4月17日(水) 3限	4人
2	4月24日(水) 3限	6人
3	5月8日(水) 3限	2人
4	5月11日(土) 2限	14人
5	5月15日(水) 3限	8人
6	5月18日(土) 2限	25人
7	5月18日(土) 4限	11人
8	5月22日(水) 3限	17人
9	5月22日(水) 5限	9人
合計		96人

ii. 学部別初年次教育実施一覧

学部	人数
英米学科	8人
ロシア学科	7人
中国学科	12人
イスパニア学科	14人
国際関係学科	29人
2部英米学科	26人
計	96人

5. 情報化推進 WG 開催状況

第1回 2013年5月22日(水) 10:30～ 小会議室

- ・ 2013年度の取り組みについてについて
- ・ 情報基盤等の更新について
- ・ 情報基盤更新にかかる支援業務について
- ・ 第2 AV 教室更新スケジュールについて
- ・ 学内 LAN 接続申請書 未提出機器への対応について
- ・ その他
 - 情報メディア教室等利用ソフト・備品購入希望について
 - 構成管理システム実施状況について
 - ALC NetAcademy2 の ASP 版の移行状況について

第2回 2013年6月19日(水) 10:30～ 小会議室

- ・ 第2 AV 教室の更新にかかる LL システムのデモについて
- ・ 研究個室よりの教材ボックスへのアクセスについて
- ・ 初年次教育の実施報告
- ・ ALC NetAcademy2 の ASP 版の状況について
- ・ その他

第3回 2013年7月24日(水) 10:00～ 小会議室

- ・ 情報基盤等の更新にかかるスケジュール(案)について
- ・ デジタル LL システムのアンケート結果について
- ・ 研究個室からの教材 BOX の利用について
- ・ ALC NetAcademy2 の ASP 版の利用状況について
- ・ その他
 - ソーシャルメディアの利用に関する学生への注意について

第4回 2013年9月25日(水) 10:00～ 小会議室

- ・ 情報基盤等の更新について
- ・ 第2 AV 教室の更新について
- ・ その他
 - 教育研究用ソフトの購入希望について
 - 名誉教授室共用 PC 設置について
 - 名誉教授の教員メール利用について

- 第5回 2013年10月23日(水) 10:00～ 小会議室
- ・第2AV教室の更新について
 - ・ネットワーク不具合への対応について
 - ・その他
- 第6回 2013年11月27日(水) 10:00～ 小会議室
- ・情報基盤の更新について
 - ・学務システムの更新について
 - ・ICTアンケートについて
 - ・その他
- 第7回 2014年1月22日(水) 10:00～ 小会議室
- ・情報基盤更新の仕様書について
 - ・学務システム更新の仕様書について
 - ・第2AV教室デジタルLLシステム調達結果について
 - ・事務局及び教育研究用コンピュータ更新について
 - ・その他
- 第8回 2014年2月5日(水) 10:00～ 小会議室
- ・2013年度自己点検評価・2014年度計画について
 - ・共用コンピュータのソフトウェアメンテナンスについて
 - ・2014年度初年次教育実施計画について
 - ・ICTアンケートのとりまとめについて
 - ・その他
- 第9回 2014年3月19日(水) 10:00～ 小会議室
- ・教育研究用及び事務局コンピュータ更新について
 - ・『教員コンピュータ・ソフトウェア利用手順書』の改訂案について
 - ・e-Learningによる英語学習サービスについて
 - ・スペイン語オンライン講座AVE導入について
 - ・第2AV教室デジタルLLシステム説明会の開催について
 - ・情報基盤運用管理業務事業者決定について
 - ・その他

6. その他

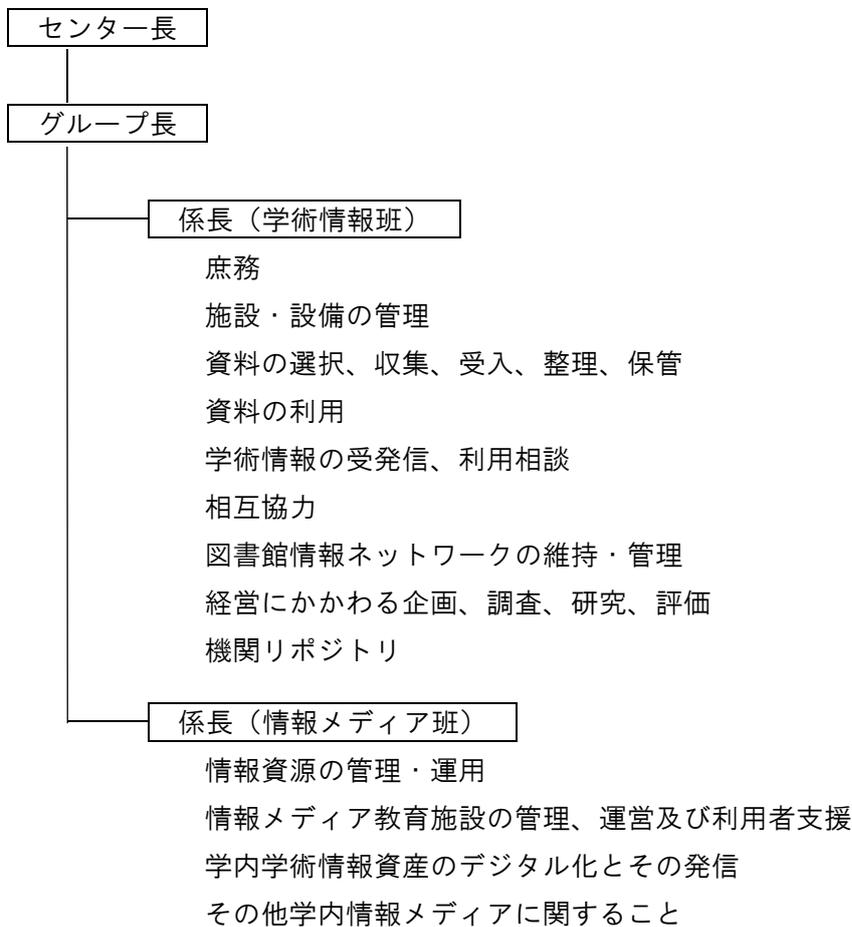
1) 研修等参加記録

情報メディア班

日程	用務・研修名	主催	会場
9月26日	進化し続ける Juniper 次世代ファイアウォールセミナー	ジュニパーネットワークス株式会社 マクニカネットワークス株式会社	TKP 大阪梅田ビジネスセンター
10月9日	音声も統合！ワークスタイル変革を実現するリアルタイムコラボレーション解説セミナー	日本マイクロソフト株式会社 デル株式会社	日本マイクロソフト株式会社 関西支店
11月1日	採用3年時職員研修 (モチベーションマネジメント研修)	行財政局職員部職員 人材開発センター	職員人材開発センター (神戸商工貿易センタービル 22階)
11月20日	2013年度「SINET 及び学認説明会」	国立情報学研究所	グランフロント大阪

参考

1) 組織・事務分掌 2013年4月1日現在



雇用形態別職員数の推移 5月1日現在（）内は司書有資格者で内数

	学術情報班					情報メディア班					合計
	市派遣	固有	契約	人材派遣	小計	市派遣	固有	契約	人材派遣	小計	
2009年度	7(6)	0	5(4)	0	12(10)	2(1)	0	3(1)	1	6(2)	18(12)
2010年度	6(5)	0	5(4)	1(1)	12(10)	2(1)	0	3(1)	1	6(2)	18(12)
2011年度	6(5)	2(2)	4(2)	0	12(9)	2(1)	1(1)	1	2	6(2)	18(11)
2012年度	6(5)	2(2)	4(2)	0	12(9)	2(1)	1(1)	0	3	6(2)	18(11)
2013年度	6(5)	2(2)	1(0)	3(3)	12(10)	2(1)	1(1)	0	3	6(2)	18(11)

2) 蔵書・コレクション

特別文庫

① アフロ・アメリカ黒人文庫

1976年に「黒人研究会」の発起人のひとりであった故貫名美隆名誉教授の蔵書の一部が図書館に寄贈されたのを機に開設された。

文庫の特徴は、当初はアフリカ、アメリカの黒人文学書を中心にし、歴史、社会、経済に関する資料が多かったが、後には先住アメリカインディアン、日系を含むアジア系アメリカ人、カリブ周辺の住民に関する図書にまで収集が広がった。

1900年代初頭に黒人と白人の共存を主張した「有色人地位向上全国協会」の機関紙のバックナンバー47冊、黒人奴隷について州ごとの調査結果を示した『ジ・アメリカンスレイブ』全19巻などが特筆すべきコレクションとしてあげることができる。

文庫は和書1,000冊、洋書2,000冊で構成されている。

② エスペラント文庫

エスペラント文庫が本学図書館に設置された経緯は定かでない。本学カリキュラムに研究語学のひとつとしてエスペラント語が正式科目として位置づけられていたこと、エスペラント図書を多数著された故貫名美隆名誉教授の力があつたのものと推測されている。

文庫にはエスペラント語の考案者でもあるザメンホフ博士が翻訳したシェークスピア『ハムレット』、シラー『群盗』など稀覯本に値するものも含まれている。

図書館刊行の目録には約1,500冊が収録されている。

寄贈による文庫

① 金田文庫：初代学長、金田近二氏寄贈

戦前の日本の植民地政策研究、移民政策研究、インド・東南アジア・中国を中心とする地域研究関係図書

② 中村文庫：中村賢二郎氏寄贈

商業英語、外国貿易実務関係図書

③ 打田文庫：打田稔氏寄贈

現代中国語図書、漢籍など

④ 団文庫：団忠夫氏寄贈

ラテンアメリカ関係のスペイン語図書

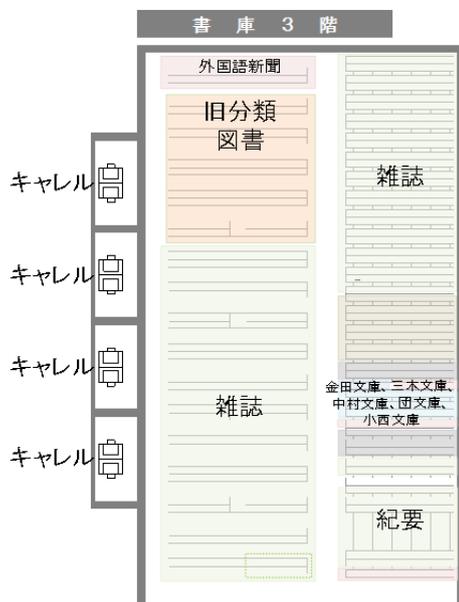
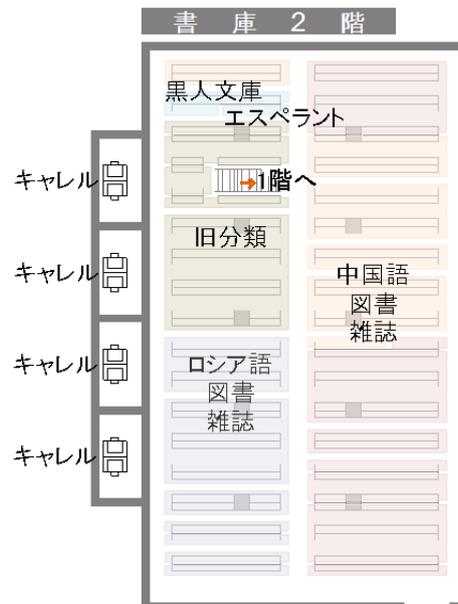
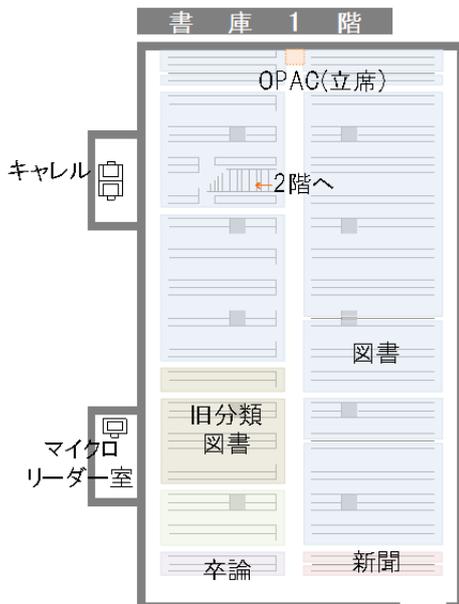
⑤ 三木記念文庫：財団法人三木記念会寄贈

オーストラリア・マレーシア・インドネシア諸国を中心とした太平洋文化圏研究に関する図書

⑥ 小西文庫：小西比左江、沼波美津子両氏寄贈

小西友七氏所蔵の英語学、語法研究、辞書編纂に関する図書

3) 図書館施設・設備



占有延床面積：3,300 m²

閲覧席 290 席

閲覧室： 108 席

第 2 閲覧室： 72 席(1F)、92 席(2F)

キャレル： 18 席

視聴覚ブース：18 席(2 人席：4 5 人席：2)

書庫内キャレル：2 人席×9 室

蔵書検索(OPAC)端末：9 台

データベース専用端末：4 台

学内 LAN 専用マシン：

デスクトップ PC：12 台(ラーニング・commons)

ノート PC：32 台(第 2 閲覧室)

4) 関係諸規程

神戸市外国語大学学術情報センター規程

2007年4月1日

規程第103号

(趣旨)

第1条 この規程は、公立大学法人神戸市外国語大学組織規程(2007年規程第1号)に基づき、神戸市外国語大学学術情報センター(以下「学術情報センター」という。)について、基本的事項を定める。

(目的)

第2条 学術情報センターは、本学に必要な学術情報メディアと情報メディア関連環境を整備し、本学構成員に提供することにより、本学における教育・研究を支援するとともに、地域の教育・文化の向上に貢献することを目的とする。

(施設)

第3条 学術情報センターに図書館および情報メディア施設を置く。

(組織及び運営)

第4条 学術情報センターに学術情報センター長を置く。学術情報センター長は、学術情報センターの事務を掌理し職員を指揮監督する。

2 学術情報センター長の選考に関する規程は、別に定める。

第5条 学術情報センターに関する重要事項は学術情報部会で審議する。

(利用)

第6条 学術情報センターの利用に関する規程は、別に定める。

(受贈・受託資料)

第7条 学術情報センターは、資料の寄贈を受け、または資料を受託することができる。

附 則

1 この規程は、2007年4月1日から施行する。

2 神戸市外国語大学図書館規程(2007年4月規程第43号)は、廃止する。

附 則

この規程は、2010年4月1日から施行する。

公立大学法人神戸市外国語大学図書管理規程

2007年4月1日

規程第100号

(目的)

第1条 この規程は、公立大学法人神戸市外国語大学固定資産管理規程第2条第2項の規定に基づき、公立大学法人神戸市外国語大学における図書の適正な管理その他必要な事項を定めるものとする。

(図書の定義)

第2条 この規程における図書とは、印刷その他の方法により複製した文書または図画、もしくは電子的方法、磁気的方法その他の方法により文字、映像又は音を記録した物品として管理が可能なもので、教育又は研究の用に供するもの(使用予定期間が1年未満のものを除く。)をいう。

(管理責任者)

第3条 図書の管理責任者(以下「図書管理責任者」という。)は、学術情報センター長とする。

(取得)

第4条 図書を取得した場合は、図書管理責任者は、速やかに受入手続を行わなければならない。

(取得価額)

第5条 図書の取得価額は、次の各号に掲げるとおりとする。

- (1) 購入した図書は、購入代価及び付随費用
- (2) 寄附により取得した図書は、定価又は同種の図書を参考とした見積額(見積りが困難な場合は、備忘価額)
- (3) 雑誌等を合冊製本して図書とする場合 原則として、当該雑誌等の購入代価及び合冊製本に要した経費
- (4) 製作による場合 その製作に要した経費

(寄贈)

第6条 図書の寄贈について受入れをする場合は、所定の手続を経なければならない。

(図書の管理事務)

第7条 図書管理責任者は、図書の増減及び現在高を明らかにするために図書原簿を作成し、保管しなければならない。

(受入)

第8条 図書の受入れをするときは、図書原簿に記録することにより登録番号を与え、図書にその登録番号を表示しなければならない。

(保管および管理責任)

第9条 図書管理責任者は、登録した図書について、所定の場所に保管し責任をもって管理しなければならない。ただし、貸出等により利用中の図書については、利用者が管理責任を負うものとする。又、教員専用図書については、当該教員が管理責任を負うものとする。

(点検)

第10条 図書管理責任者は、第8条の規定により登録した図書の管理について、定期的に点検を行うものとする。

(登録の抹消)

第11条 図書管理責任者は、資産として登録されている図書が次の各号のいずれかに該当する場合は、登録を抹消することができる。

- (1) 破損又は汚損がはなはだしく、補修不能な図書

- (2) 第10条に定める点検の結果、滅失したと認められた図書
- (3) 災害、盗難等により滅失した図書
- (4) 保存の必要がないと認められた図書
- (5) その他図書管理責任者が登録抹消を適当と認めた図書
(処分手続)

第12条 図書管理責任者は、登録を抹消する図書のうち現存するものについて廃棄、贈与又は売却のうちから取扱方法を決定する。

(財産管理者への報告)

第13条 図書管理責任者は、決算時等必要に応じ、図書の取得及び除却の状況等を含め、図書の保管状況を財産管理者に報告するものとする。

(その他)

第14条 この規程に定めるもののほか、図書の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、2007年4月1日から施行する。

神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程

2007年4月1日

規程第104号

(趣旨)

第1条 この規程は、神戸市外国語大学学術情報センター規程第5条に基づき、神戸市外国語大学学術情報センターの図書、逐次刊行物、視聴覚資料その他の学術情報(以下「図書等」という。)の利用について必要な事項を定める。

(利用の対象となる図書等)

第2条 この規程により利用できる図書等は、学術情報センターで所蔵するものとする。

2 学術情報センター以外で所蔵する図書等の利用については学術情報センターが別に定める。

(利用者の範囲)

第3条 図書等を利用できる者は、次に掲げる者とする。

- (1) 本学教職員
- (2) 本学大学院学生
- (3) 本学学生
- (4) 国内留学生
- (5) 本学客員研究員

2 前項に規定する者のほか、次に掲げる者は本学の利用に支障のない限り、センター長の許可を得て許可する範囲内で図書等を利用することができる。

- (1) 本学の卒業生
- (2) 図書館間相互協力貸借協定による者
- (3) 学術研究の目的をもってセンターの利用を希望する大学等学術研究機関に所属する者
- (4) その他センター長の許可を得た者

(利用の方法)

第4条 図書等の利用の方法は、次の通りとする。

- (1) 館内利用
- (2) 帯出利用
- (3) 参考業務
- (4) 資料の複写
- (5) 資料相互利用
- (6) その他館内施設および機器等の利用

2 センター長は、必要があると認めるときは、前項の利用を制限し、または禁止することができる。

(図書等を利用できる時間)

第5条 図書等を利用できる時間は、月曜日から木曜日までは午前9時から午後9時10分まで、金曜日は午後9時20分まで、土曜日は午前10時から午後6時までとする。ただし、春季、夏季及び冬季休業期間中の平日は午前9時から午後4時30分までとする。

2 前項の規定にかかわらず、センター長が必要と認めるときは、臨時に時間を延長または短縮することができる。

(図書等を利用できない日)

第6条 センターの図書等を利用できない日は、次の通りとする。

- (1) 日曜日

- (2) 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)に規定する休日
- (3) 曝書期間
- (4) 蔵書点検等に必要な期間
- (5) 年末年始
- (6) 春季、夏季及び冬季休業期間中における土曜日

2 前項の規定にかかわらず、センター長が必要と認めるときは、臨時に休館日を定めることができる。

(利用の停止等)

第7条 センター長は、別に定める施行規則等に違反した者に対し、図書等の利用を停止し、または禁止することができる。

(損害賠償)

第8条 学術情報センターの機器、施設を滅失または毀損したとき、または資料を汚損、紛失したときは、原状回復または損害賠償の責を負う。

(規程の変更)

第9条 この規程は、教育研究評議会の合議を経て変更することができる。

(規程の施行規則)

第10条 この規程に定めるもののほか、センター本館の利用に関し必要な事項は、センター長がこれを定める。

附 則

- 1 この規程は、2007年4月1日から施行する。
- 2 神戸市外国語大学図書館利用規程(2007年4月規程第81号)は廃止する。

附 則

この規程は、2009年8月1日から施行する。

神戸市外国語大学情報メディア教育施設利用規程

2007年4月1日

規程第83号

(趣 旨)

第1条 この規程は、情報メディア教育施設（以下「施設」という。）の管理運営について定める。

(施 設)

第2条 施設とは以下のものをいう。

- (1) 情報メディア教室
- (2) 教材作成・研究施設
- (3) 学生コンピュータ室
- (4) その他

(施設の管理運営)

第3条 施設は学術情報センター長が管理運営する。

(利用者の範囲)

第4条 施設を利用できる者は、次に掲げる者とする。

- (1) 本学教職員
- (2) 本学大学院学生
- (3) 本学学生
- (4) その他学術情報センター長の許可を得た者

(施設の利用目的)

第5条 施設の利用目的は次のとおりとする。

- (1) 本学の正課授業
- (2) 本学の主催又は主管する行事
- (3) 本学の教職員及び学生が行なう研究教育活動

但し、学生の場合は、教職員の指導の下に行なうことを原則とする。

- (4) 本学の学生が行なう課外活動
- (5) その他、学術情報センター長が特に使用許可した行事

(施設の利用時間)

第6条 施設の利用時間は、別に定める。

(施設の利用手続き)

第7条 施設を利用しようとする者は、利用する日の1週間前までに所定の施設利用許可願を学術情報センター長に提出し、許可を受けなければならない。

但し、授業のために年間を通じて使用する場合は、年度始めに当該の授業を管轄するグループの長より学術情報センター長に時間割の形式で連絡するものとする。

(施設の利用停止)

第8条 学術情報センター長は、施設内の秩序を乱し、運営に支障をきたす利用者に対しては、利用を停止することができる。

(備品等の賠償)

第9条 利用者は故意又は過失により施設の設備・備品等を破損、汚損又は紛失した場合は、その損害につき賠償しなければならない。

2 学術情報センター長が天災その他やむを得ない事由があると認められた時は、所定の手続きを経て前項の責任を減免することができる。

(その他)

第10条 この規程に定める以外に施設の利用に関して必要となる事項は、教育研究評議会の審議に基づき学術情報センター長が定める。

附 則

この規程は、2007年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2007年12月1日から施行する。

附 則

この規程は、2009年4月1日から施行する

神戸市外国語大学学術情報部会規程

2010年4月1日

規程第2号

(設置)

第1条 神戸市外国語大学教育研究評議会規程第8条第1項の規程に基づき学術情報部会(以下「部会」という。)を設置する。

(審議事項)

第2条 部会は、学術情報センター(以下「センター」という。)に関する、以下の事項について審議する。

- (1) 資料の選択・収集・保存に関する事項
- (2) 情報発信・機関リポジトリに関する事項
- (3) 利用サービスの向上に関する事項
- (4) 地域貢献・市民開放に関する事項
- (5) その他、センターの運営に関する重要な事項

(組織)

第3条 部会は、次の委員で組織する。

- (1) センター長
- (2) 各学科・グループから選出された教員 7名
英米・ロシア・中国・イスパニア・国際関係学科から各1名
法経商・総合文化グループから各1名
- (3) センターグループ長
- (4) その他センター長が必要と認めた者

2 前項第2号に規定する委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部会長)

第4条 部会に部会長をおき、センター長を充てる。

2 部会長は、部会を招集し、その議長となる。

3 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長が指名した委員が、その職務を代行する。

(議事)

第5条 部会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第6条 部会長は、必要があるときは、委員以外の者の出席を求めて説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 部会の庶務は、センターにおいて行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会が定める。

附 則

この規程は、2010年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、2011年4月1日から施行する。

公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針

2012年4月1日

規程第7号

(目的)

1 この指針は、公立大学法人神戸市外国語大学（以下「本学」という。）において運用する神戸市外国語大学機関リポジトリ（以下「リポジトリ」という。）の運用方針を定めることを目的とする。

(定義)

2 この指針において「リポジトリ」とは、本学の教育研究活動において作成された成果を電子的に収集し、恒久的に蓄積・保存し、学内外に無償で発信・提供することにより、教育・研究の発展に資するとともに、広く社会に対し貢献することを目指すシステムをいう。

(管理運営)

3 リポジトリの管理・運営は、学術情報センター（以下「センター」という。）が行う。

(登録者)

4 リポジトリに登録できる者（以下「登録者」という。）は、次のとおりとする。

- (1) 本学に在籍する又は在籍したことのある教職員及び大学院生
- (2) 本学の学部・学科コース・研究科・研究所・センター等の各組織、又はそれらを母体とする団体
- (3) 本学内に事務局がある、又は(1)に該当する者が委員や代表を務める団体
- (4) その他、学術情報センター長（以下「センター長」という。）が特に認めた者

(登録対象)

5 登録対象は以下の要件を満たすものとする。

- (1) リポジトリに登録・蓄積・保存（以下「登録」という。）する範囲は、本学において作成された別表に掲げる教育・研究成果物（以下「成果物」という。）とする
- (2) 公開に当たって、法令上、社会通念上、及びセキュリティ上問題が生じないもの
- (3) ネットワークを通じて配信できること
- (4) その他、センター長が適当と認めたもの

(登録手続き)

6 登録者は、自らが作成又は作成に関わった成果物について、別に定める手続きにより、その登録作業をセンターに依頼することができる。

(登録された成果物の利用)

7 センターは、リポジトリに登録された成果物を次のとおり利用する。

- (1) 当該成果物を複製し、リポジトリを構成するサーバに格納する。
- (2) 前記の複製物をネットワークを通じて不特定多数に無償で公開又は送信する。
- (3) 保存・利用・送信の便宜のために必要に応じて媒体変換を行う。

8 センターは、リポジトリに登録された成果物の利用について、前項に掲げる利用方法以外による利用は行わない。

(著作権の周知)

9 センターは、ネットワークを通じて成果物を利用するものに対し、著作権法を遵守するよう周知する。

(成果物の著作権と利用許諾)

10 リポジトリに登録し公開する成果物について、著作権が複数の者に帰属している場合、登録者は、項目7に掲げる利用について、他の著作権者の許諾を得ておかなければならない。

11 リポジトリに登録された成果物の著作権は、著作権者の元に留保される。

(成果物の削除)

12 センターは、次のいずれかに該当する場合は、登録された成果物を削除又は非公開化することができる。

(1) 登録者から削除又は非公開の申請があった場合

(2) 他者に帰属する著作権、所有権等を侵害する、又は社会的にみて著しく不適切な内容を含むと、学術情報部会において認められた場合

(免責)

13 本学は、登録された成果物を利用することによって生じた利用者のいかなる損害・不利益についても、一切責任を負わないものとする。

(その他)

14 この指針に定めのない事項については、センター長が別に定める。

附 則

この規程は、2012年4月1日から施行する。

別表(項目5関係)

種 別	対象となる成果物
紀要論文	紀要類に掲載された論文
学位論文	本学に提出された博士論文、修士論文
研究報告書	ワーキングペーパー、ディスカッションペーパー、研究報告・調査報告(科研費等の助成金による研究成果の報告書等)
学術雑誌論文	各種学術団体等が発行する学術雑誌、研究会誌等に掲載された論文
会議資料	会議録・予稿集に掲載された論文、発表資料、ポスター等
教育資料	授業、講習会などで用いる資料、配布資料(講義ビデオなど動画も含める)
書籍	全部又は一部
その他	

* 大学院生の成果物については、指導教官の承認を得ることとする。

神戸市外国語大学学術情報センター図書館利用規則

2013 年4月1日6

学術情報センター長決定

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程(以下「利用規程」という。)第10条に基づき、神戸市外国語大学学術情報センター図書館(以下「図書館」という。)の利用について必要な事項を定めるものとする。

(利用者の範囲)

第2条 利用規程第3条第1項第1号に掲げる「本学教職員」には、非常勤講師、非常勤職員、名誉教授及びこれに準じる者を含めるものとする。

2 利用規程第3条第1項第2号に掲げる「本学大学院学生」には、研究生、研修員、特別聴講学生及びこれに準じる者を含めるものとする。

3 利用規程第3条第1項第3号に掲げる「本学学生」には、科目等履修生、外国人交流学生、特別聴講学生及びこれに準じる者を含めるものとする。

4 利用規程第3条第1項第4号に掲げる「国内留学生」とは、神戸市外国語大学国内留学生の受入に関する規程(2007年4月規程第59号)第2条に規定する者をいう。

5 利用規程第3条第1項第5号に掲げる「本学客員研究員」とは、神戸市外国語大学客員研究員に関する規程(2007年4月規程第77号)第2条に規定する者をいう。

6 利用規程第3条第2項第1号に掲げる「本学の卒業生」には、大学院修了生及びこれに準じるものを含めるものとする。

第2章 図書館カード

(図書館カードの交付)

第3条 図書館を利用する者に対し、図書館カードを交付する。

(図書館カード交付の範囲)

第4条 図書館カードの交付を受けることができる者は、利用規程第3条に掲げた者とする。

(図書館カードの交付)

第5条 図書館カードの交付を受けようとする者は、カード申請書をセンター長に提出しなければならない。ただし、本学の教職員証又は学生証の交付を受けた者は、それをもって図書館カードの交付を受けたものとする。

(図書館カードの有効期間)

第6条 図書館カードの有効期間は、次表のとおりとする。

区 分	有効期間
本学教職員 本学大学院学生 本学学生 国内留学生 本学客員研究員	本学に在職又は在籍している期間(名誉教授は、称号が授与されている期間)
本学の卒業生	図書館カードを交付した日の属する年度の末日までの期間

(図書館カードの取り扱い)

第7条 図書館を利用するときは図書館カードを携帯し、図書館職員の求めに応じ、これを提示しなければならない。

2 図書館カードの利用者は、次の各号を守らなければならない。

- (1) 図書館カードを譲渡又は貸与してはならない。
- (2) 図書館カードを紛失、破損若しくは汚損したとき、又は氏名若しくは住所に変更があったときは、速やかに届け出なければならない。
- (3) 前号による届け出をした者で図書館カードの再交付を希望する者は、所定の手続きを経るものとする。

第3章 館内利用

(書庫の図書等の利用)

第8条 書庫の図書等を利用しようとする者は、所定の手続きを経るものとする。

(貴重図書の利用)

第9条 貴重図書を利用しようとする者は、事前に所定の手続きを行い、センター長の許可を得なければならない。

第4章 帯出利用

(帯出利用の手続)

第10条 図書等の帯出利用を受けようとする者は、図書館カードを提示し所定の手続きを行うものとする。

(帯出制限)

第11条 次の図書等は、帯出することができない。ただし、特別の事由がある場合は、センター長が許可した者に限り、センター長が定める一定期間帯出することができる。

- (1) 貴重図書
- (2) 視聴覚資料
- (3) 電子媒体資料
- (4) 寄託図書(卒業論文、修士論文等)

2 次の図書等は、本学教職員に準じるものに限り、センター長の許可を得て帯出することができる。

- (1) 参考図書
- (2) 逐次刊行物(最新刊、特に指定したものは除く)

(帯出の冊数及び期間)

第12条 帯出することのできる図書等の冊数及び期間は、次表のとおりとする。

区 分	冊 数	期 間	備 考
本学教職員 客員研究員	30冊	12週間	逐次刊行物は5 冊1週間
本学大学院学生 国内留学生	20冊	4週間	
本学学生(3・4年生)	10冊	2週間	
本学学生(1・2年生) 本学の卒業生	5冊	2週間	

2 センター長は、次の各号の一に該当する場合は、前項の規定にかかわらず冊数を増加し、又は期間を延長することができる。

- (1) 春季、夏季及び冬季休業期間にかかる特別貸出期間
- (2) 特別の研究のため必要と認める場合
(帯出図書の取扱い)

第13条 図書の帯出者は、次の各号に定めるところを守らなければならない。

- (1) 帯出した図書等は、期間内に返却しなければならない。
- (2) 帯出した図書等は、いかなる場合も転貸してはならない。
- (3) 本学教職員の身分を失ったとき、又は本学大学院学生、学生が退学若しくは除籍処分を受けたときは、直ちに帯出中の図書等を返却しなければならない。
(帯出利用の停止)

第14条 前条第1号、第2号に違反した者は、次の定めるところにより資料の帯出利用を停止する。

- (1) 期間を超えて返却した場合には、返却した日から起算して期間を超えた日数の間、帯出利用することができない。
- (2) 前号の規定違反を繰返す者については、図書館の利用を停止することができる。

第5章 参考業務

第15条 利用者は、教育若しくは研究上に必要な資料の利用についての相談、又は文献の書誌事項、資料の所在調査及び事項調査等を図書館に依頼することができる。

第6章 資料の複写

(資料の複写及び制限)

第16条 図書等を複写しようとする者は、複写申込書をセンター長に提出しなければならない。

2 前項の複写申込書の提出があったときは、著作権法(昭和45年法律第48号)に基づき適法な範囲で図書等の複写を行い、又は条件を付して図書等を複写させることができる。ただし、次の図書は、複写することができない。

- (1) 寄託図書のうち、寄託の条件として複写を禁止しているもの
- (2) その他特にセンター長が指定するもの

(複写の費用)

第17条 複写に要する費用は、申込者が負担する。

(著作権に関する責任)

第18条 資料の複写に関する著作権法上の責任は、申込者において負う。

第7章 資料相互利用

(資料相互利用)

第19条 本学教職員、本学大学院学生及び本学学生は、他大学図書館等との相互貸借要項及び指針等に従い、現物貸借、文献複写及び訪問利用の依頼を行うことができる。ただし、非常勤講師については、現物貸借及び訪問利用は利用できない。

(他大学図書館等からの貸借・訪問利用の依頼)

第20条 図書館は、他大学図書館等から図書等の利用依頼があった場合は、本学における教育又は研究上に支障のない限り、これを許可することができる。

第21条 前条による利用の依頼があっても、次の各号に該当する資料は、対象から除外する。

- (1) 教員専用図書として購入され教員の保管下にある資料
- (2) その他センター長が指定する資料

第 22 条 現物貸借で一機関に対する貸出冊数及び期間は、次のとおりとする。ただし、センター長が特に必要と認めるときは、この限りではない。

(1) 冊数 5冊以内

(2) 期間 搬送等に要する日数を含めて1月以内

(文献複写の受託)

第 23 条 図書館が受託する文献複写の手続きについては、別に定める。

(相互利用の費用)

第 24 条 資料相互利用に要する費用は、すべて利用者が負担しなければならない。

(神戸研究学園都市大学図書館との相互利用)

第 25 条 神戸研究学園都市大学図書館相互利用については、「神戸研究学園都市大学図書館相互利用直接貸出実施要綱」による。

(神戸市立図書館との相互貸借)

第 26 条 神戸市立図書館との相互貸借については、「神戸市立図書館と神戸市外国語大学学術情報センター間の相互貸借実施に伴う協議事項」による。

(国立国会図書館送信資料の利用)

第 27 条 国立国会図書館資料利用規則（平成 16 年国立国会図書館規則第 5 号）第 5 章の 2 の規定により国立国会図書館より送信を受けた資料の利用については、別に定める。

第 8 章 館内施設・機器等の利用

(館内施設の利用)

第 28 条 AVブース又はマイクロ閲覧室の設備を利用しようとする者は、所定の手続きを経るものとする。

2 マイクロリーダープリンターの利用にかかる費用については、次表の定めるところにより、申込者が実費負担するものとする。

種 別	対象者	色		1枚の複写料
マイクロフィルムの プリントアウト	本学大学院生 本学学生	モノクロ	B5判・A4判	25円
	学外者※1			35円

※1 学外者とは、本学教職員、本学大学院学生及び本学学生以外の利用者

(機器等の利用)

第 29 条 図書館内の情報機器を利用する場合は、「公立大学法人神戸市外国語大学情報資産運用・管理規程」(2011年8月規程第1号)及び「公立大学法人神戸市外国語大学情報資産利用規程」(2011年8月規程第2号)の定めるところに従う。

第 9 章 損害賠償

(届出義務)

第 30 条 図書等を汚損又は紛失した者は、図書紛失・汚損届を提出しなければならない。

(賠償の決定)

第 31 条 センター長は、図書紛失・汚損届を受け、紛失状況及び損傷の程度を考慮の上、賠償の決定を行う。

(利用制限)

第 32 条 賠償する者は、賠償が完了するまでの期間、利用規程第 4 条に規定する帯出利用等の利用について制限を受けるものとする。

(賠償方法)

第 33 条 賠償の方法は、現物賠償により行う。ただし、センター長が、現物賠償が不可能又は代物若しくは金銭による賠償が適当と判断する場合は、センター長の指定する代物又は相当の金銭を納めることにより行う。

(賠償免除)

第 34 条 センター長は、以下の場合で、やむを得ない事由があると認めるときは、所定の手続きを経てその責任を免除することができる。

- (1) 災害(火災、水害、地震等)による場合
- (2) 盗難にあった場合(警察に被害の届出をしたものに限る。)
- (3) その他センター長が認めた場合

(賠償完了)

第 35 条 賠償は、賠償図書の納入又は賠償金の支払いをもって完了するものとする。

2 賠償した者は、賠償完了後、いかなる不利益も蒙らないものとする。

(賠償後の図書等の取り扱い)

第 36 条 損害賠償が完了した場合、いかなる理由があっても賠償した図書又は賠償金の返還はしないものとする。

2 賠償完了後、賠償した者から申し出がある場合、汚損又は紛失した当該図書を譲渡することができる。

附 則

この規則は、2013 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この規則は、2014 年 1 月 7 日から施行する。

神戸市外国語大学学術情報センター図書館文献複写要項

2013 年 4 月 1 日

学術情報センター長決定

(趣旨)

第1条 この要項は、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規則第23条に基づき、資料相互利用における図書館が受託する文献複写の手続きについて必要な事項を定めるものとする。

(複写の目的)

第2条 文献の複写は、教育又は研究の用に供することを目的とする場合に限り受託することができる。

2 文献の複写は、神戸市外国語大学学術情報センター図書館に所蔵する図書等について行うものとする。

(依頼の対象者)

第3条 文献の複写を依頼することができる者は、次の各号のいずれかに該当する機関又は施設の所有者又は管理者とする。

(1) 国立情報学研究所が実施する ILL 文献複写等料金相殺サービス加入機関

(2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条の大学又は高等専門学校に設置された図書館及びこれに類する施設

(3) 大学等における教育に類する教育を行う教育機関で当該教育を行うにつき学校教育法以外の法律に特別の規定があるものに設置された図書館及びこれに類する施設(国又は地方公共団体又は民法第34条の法人が設置するものに限る。)

(4) 学術の研究を目的とする研究所、試験所その他の施設で法令の規定によって設置されたものに設置された図書館及びこれに類する施設(国又は地方公共団体又は民法第34条の法人が設置するものに限る。)

(5) 図書館法(昭和25年法律第118号)第2条第1項に規定する図書館

(6) 学校図書館法(昭和28年法律第185号)第2条に規定する学校図書館

(7) 国立国会図書館法(昭和23年法律第5号)第1条に規定する国立国会図書館

(8) 文部科学大臣が小学校、中学校又は高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設に設置された図書館及びこれに類する施設

(9) その他学術情報センター長(以下「センター長」という。)が認めるもの

(複写の申込み)

第4条 文献の複写を依頼しようとする者は、申込書をセンター長に提出して、その承認を得なければならない。

2 センター長は、文献の種類によっては、前項の承認をしないことがある。

(複写料金の納付)

第5条 前条第1項の承認を得た者は、文献の複写料金を納付しなければならない。

2 文献の複写料金は、[別表](#)に規定する複写料及び複写物の送料を合算した額とする。

3 [第3条第1項第1号](#)に掲げるものについては、国立情報学研究所が実施する ILL 文献複写等料金相殺サービスの規程により支払うものとする。

4 文献の複写料金を支払う者は、料金の額及び支払期限を厳守しなければならない。

5 納付された複写料金は、還付しない。

附 則

この要項は、2013年4月1日から施行する。

別表

種 別	色・大きさ	複写料
電子複写方式	モノクロ・A3判以下	35円
電子ジャーナル・CD-ROM等プリントアウト	モノクロ・A4判以下	35円
マイクロフィルムプリントアウト	モノクロ・A4判以下	35円

神戸市外国語大学学術情報センター市民利用制度実施要綱

2007年11月7日制定

2013年4月1日改正

(趣旨)

第1条 この要項は、神戸市外国語大学学術情報センター(以下「学術情報センター」という。)の市民利用制度に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 この制度は、本学における教育又は研究に支障のない範囲での学術情報センターの利用を通じて、市民の生涯学習に貢献することを目的とする。

(利用資格)

第3条 この制度を利用できる者は、次の各号の一に該当する満18歳以上の者とする。ただし、大学受験のための利用者は除外する。

- (1) 神戸市内に居住する者
- (2) 神戸市内の事業所等に勤務する者
- (3) その他学術情報センター長が認めた者

(利用者登録)

第4条 この制度の利用を希望する者は、登録に必要な書類を添えて学術情報センター長(以下「センター長」という。)に申請しなければならない。

- 2 センター長は、申請者を適格と認めたときは、利用者を登録し、利用者カードを交付する。
- 3 利用者カードの有効期限は、交付日から1年とする。

(登録料)

第5条 この制度の利用を希望する者は、次の各号に該当する場合、登録料として500円を支払うものとする。

- (1) 利用者登録を行なう場合
- (2) 有効期限を超えて再登録する場合
- (3) 紛失又は破損等で利用者カードを再発行する場合

(利用期間)

第6条 この制度による利用可能日は、学術情報センター開館中の土曜日並びに夏季、冬季及び春季の休業期間とする。ただし、学術情報センター長が必要と認めた場合はこれを変更することがある。

(利用方法等)

第7条 この制度による利用者は、学術情報センター所蔵資料の館内閲覧、館外貸出(5冊以内かつ2週間以内)及び複写(有料)の各サービスが利用できる。

- 2 その他の資料の利用及び関係諸施設・設備の利用については、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程(2007年4月規程第104号)による。

(雑則)

第8条 この制度について、この要項に定めのない事項については、学術情報センターの諸規定を準用する。

附 則

この要綱は、2007年12月1日から施行する。

附 則

この要綱は、2013年4月1日から施行する。

神戸市外国語大学学術情報センター－国立国会図書館送信資料利用要項

2014年1月7日

学術情報センター長決定

(趣旨)

第1条 この要項は、神戸市外国語大学学術情報センター図書館利用規則第27条に基づき、国立国会図書館資料利用規則（平成16年国立国会図書館規則第5号）第5章の2の規定により送信を受けた資料の利用について、必要な事項を定めるものとする。

(利用者の範囲)

第2条 送信を受けた資料を利用できる者は、神戸市外国語大学学術情報センター図書等利用規程第3条第1項に掲げる次の者とする。

- (1) 本学教職員
- (2) 本学大学院学生
- (3) 本学学生
- (4) 国内留学生
- (5) 本学客員研究員

(利用方法)

第3条 送信を受けた資料の利用方法は、閲覧並びに複写物の作成及び提供とする。

(閲覧利用)

第4条 送信を受けた資料を閲覧しようとする者は、「国立国会図書館送信資料閲覧申込書」（様式第1号）をセンター長に提出し、閲覧室内の所定の機器で利用することができる。

2 閲覧利用に必要な識別番号、又は暗証番号は職員が管理する。

(複写利用)

第5条 送信を受けた資料の複写を依頼しようとする者は、「国立国会図書館送信資料複写申込書」（様式第2号）をセンター長に提出しなければならない。

2 前項の申込書の提出があったときは、申込者が第2条に該当する者であること、著作権法(昭和45年法律第48号)に基づき適法な範囲であることを確認の上、事務室内の所定の端末で職員が複写物を作成し、申込者に提供する。

3 複写物作成に必要な識別番号、又は暗証番号は職員が管理する。

4 申込者は、次表に規定する複写料金を納付しなければならない。

種別	色	大きさ	1枚の複写料
プリントアウト	モノクロ	A3判以下	35円
		B5判・A4判	75円
	カラー	A3判	105円

5 納付された複写料金は、還付しない。

(著作権に関する責任)

6 資料の複写に関する著作権法上の責任は、申込者が負う。

附 則

この要項は、2014年1月7日から施行する。

5) 沿革

年	月	
1949	2	神戸市外国語大学開設が認可される
1951	7	図書館規程の制定
1956	5	図書館建設工事に着工
1958	5	図書館創設
1959	4	図書館落成記念式典
1968	4	書庫を2層に増築
1970	4	開架図書室の新設
	4	ラトビア共和国科学アカデミー基礎図書館と図書交換協定を締結
	7	市民開放の実施
	11	図書館実態調査の実施
1971	9	中村文庫の設置
	○	提案箱設置、希望図書制度の実施
1972	7	図書館実態調査報告書発行
	9	三木記念会より「三木記念文庫」設置の申し出あり
1974	1	外大図書館長選考規程制定
	9	図書館運営委員会に「神戸市外国語大学図書館改善要項」を提示
1975	10	紀要等大学刊行物が研究所から図書館に移管、開架室での利用開始
1976	12	大学移転計画発表
	○	アフロ・アメリカ黒人文庫設置
	○	団文庫設置
1977	○	打田文庫設置
1978	○	天津外国語学院との図書交換開始
1981	2	「総合計画委員会」の第二分科会において大学移転に伴う図書館棟の検討が開始
1983	11	上海外国語学院との図書交換開始
1985	1	図書館竣工
1986	2	「外大図書館規程」「外大図書館利用規程」「外大図書館運営委員会規程」制定
	4	「図書館利用規程」の改正 貸出冊数制限の緩和、利用可能資料の増加
	7	南開大学と図書交換に関する協定締結が承認
1987	7	図書館の市民開放を再開
1988	11	電算機導入準備委員会が「電算機システム導入に関する調査報告書」提出
1989		楠ヶ丘文庫設置
1990	4	「神戸研究学園都市大学連絡協議会」にて「図書館部会」の設置が決定
	8	BDS 導入
1991	9	図書館報「AD ALTIORA SEMPER」創刊
	9	「神戸研究学園都市大学連絡協議会図書館部会の発足
	10	「島尾敏雄文学展」と記念講演会「島尾敏雄と神戸」の開催
1992	8	森田文庫設置
1993	6	「神戸市図書館情報ネットワーク研究会」発足
1994	3	「神戸市図書館情報ネットワーク研究会」から調査報告書提出
	3	「打田文庫目録」第1冊刊行
	4	図書館業務電算化の基本調査に着手
	4	ハンガリー科学アカデミー図書館との雑誌交換開始
1995	1	阪神淡路大震災発生
	2	図書館利用再開
	3	学内LAN敷設
	10	図書館業務の電算化 「図書館利用規程」改正
	10	「学内LAN運営規程」制定
1995	12	学内LAN利用の開始
	12	学術情報センターILL（図書館間相互貸借）に加盟
1995	○	CD-ROM提供開始
1997	4	土曜日の利用時間が13時-21時から10時-17時に変更
1997	○	WWW利用可能マシンの設置

- 1998 1 雑誌検索マシンの設置
- 1998 〇 キーワード検索マシンの設置
- 2000 4 職制改正により、研究所の視聴覚教育係と統合し「図書館情報管理サービス係」となる
- 2001 1 「神戸市図書館情報ネットワークシステム」システム更新
- 1 NACSIS 新 CAT 対応、インターネット・携帯電話からの蔵書検索が可能に
- 2001 6 神戸市内の公共図書館との相互貸借サービス開始
- 〇 地方自治情報センターから「地方公共団体優秀情報処理システム」として表彰される
- 2002 5 OPAC による予約受付開始
- 10 秋季図書館ガイダンスの実施
- 〇 「よくある質問」の配布開始
- 2003 〇 神戸研究学園都市大学連絡協議会加盟大学の図書館利用が教員・院生で開始される
- 2004 10 洋雑誌のオンライン版（オンラインジャーナル）の提供開始
- 〇 神戸研究学園都市大学連絡協議会加盟大学の図書館利用が学生にも拡大される
- 2005 4 閲覧席 40 席増設
- 6 ILL メール通知サービス開始
- 2006 1 新図書館業務クライアント、OPAC 稼動 WebOPAC 予約可能に
- 3 入退館システム導入
- 4 図書館の組織変更「学術情報係」「情報メディア係」の 2 係に
- 12 「司書のおすすめ」開始
- 2007 4 「学術情報センター」に改称
- 11 ILL 相殺システムに参加
- 12 利用を拡充した「図書館市民利用制度」の開始
- 2008 2 空調設備改修
- 4 パスファインダー「infosheet」発行
- 8 閲覧室拡張工事開始
- 2009 4 土曜日の利用時間が 18 時まで延長
- 4 閲覧室増築工事完成 閲覧席増設 視聴覚ブース移設完成
- 6 ゼミガイダンスの開始
- 6 図書館 Web サイトのリニューアル
- 2010 4 学術情報部会の設置
- 7 館報 32 号よりリニューアル発行
年次報告発行
- 2011 3 第二閲覧室 1 階に無線 LAN 敷設 ノートパソコン 24 台、プリンタ 3 台配置
- 3 小西文庫設置
- 10 ビブリオバトル開催
- 11 選書ツアー センター長茶話会実施
- 11 機関リポジトリ設置について教授会で承認
- 12 NII に JAIRO Cloud の利用を申請し承認される。
- 2012 1 リポジトリワークショップ開催
- 2 「公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針」が教授会で承認
第二閲覧室 1 階にノートパソコン 8 台、プリンタ 1 台追加。パソコン 32 台、プリンタ 4 台に
- 3 B D S、入退館ゲート入れ替え
- 4 「公立大学法人神戸市外国語大学学術情報リポジトリ運用指針」施行
- 5 JAIRO Cloud によるリポジトリ構築開始
- 6 書庫 2 階現代中国語資料のデータ遡及事業
- 8 CSI 委託事業「次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業」（領域 1）受託
- 8 リポジトリ試験公開開始
- 10 初年次教育（図書館の使い方）実施
- 11 Re ユース実施
- 11 来館者アンケート実施
- 2013 3 製本新聞の保管庫（本部棟地下）新設

- 4 学術情報リポジトリ正式運用開始
洋装漢籍本廻及入力開始
- 8 教員著作コーナー設置
- 2014 1 「神戸市外国語大学学術情報センター国立国会図書館送信資料利用要項」制定
- 3 ロビー・トイレ改修工事 ラーニング・commons設置
書庫3階集密書架改修工事

6) センター長（図書館長）

氏名	任期	氏名	任期
図書館長		20 高原 脩	1991.4.1～1994.3.31
1 寺沢 智了 (文部事務官)	1949.4.1～1952.5.30	21 北畠 霞	1994.4.1～1997.3.31
2 小川 佐太郎	1952.6.1～1953.9.30	22 原田 松三郎	1997.4.1～2000.3.31
3 山下 修	1953.10.1～1955.9.30	23 大塚 秀之	2000.4.1～2003.3.31
4 岩井 茂	1955.10.1～1957.9.30	24 佐藤 晴彦	2003.4.1～2006.3.31
5 本田 実	1957.10.1～1959.9.30	25 近藤 義晴	2006.4.1～2007.3.31
6 山本 守	1959.10.1～1961.9.30	学術情報センター長	
7 久保 次郎	1961.10.1～1963.9.30	26 益岡 隆志	2007.4.1～2010.3.31
8 川崎 武夫	1963.10.1～1965.9.30	26 和田 四郎	2010.4.1～2011.3.31
9 沢井 澄	1965.10.1～1967.9.30	27 益岡 隆志	2011.4.1～2014.3.31
10 本多 三七	1967.10.1～1969.9.30	28 太田 斎	2014.4.1～
11 林 雪光 (館長職務代行)	1969.10.1～1970.6.6		
12 木村 保重 (館長職務代行)	1970.6.7～1972.10.31		
13 貫名 美隆	1972.11.1～1974.3.31		
14 貫名 美隆	1974.4.3～1977.3.31		
15 大芝 孝	1977.4.1～1980.3.31		
16 小西 友七	1980.4.1～1983.3.31		
17 赤松 光雄	1983.4.1～1986.3.31		
18 蔵中 進	1986.4.1～1989.3.31		
19 赤松 光雄	1989.4.1～1991.3.31		

神戸市外国語大学学術情報センター



神戸市外国語大学は2016年
に創立70周年を迎えます。

活動報告 2013年度

2014年7月1日 発行

神戸市外国語大学学術情報センターグループ